

日医総研ワーキングペーパー

## 国民医療費の伸びの要因分析

No. 175

2008年9月30日

日本医師会総合政策研究機構

前田由美子

## 国民医療費の伸びの要因分析

日本医師会総合政策研究機構 前田由美子

### キーワード

- ◆ 国民医療費
- ◆ 医療費の伸び
- ◆ 自然増
- ◆ 高齢化
- ◆ 悪性新生物
- ◆ 脳血管疾患
- ◆ 虚血性心疾患
- ◆ 高血圧性疾患
- ◆ 糖尿病
- ◆ 精神及び行動の障害

### ポイント

- ◆ 厚生労働省は医療費の伸びについて、診療報酬改定、人口増減、高齢化以外の要因を「医療の高度化等の自然増」と説明している。しかし実際には、疾病構造や受療率の変化、その背景にある医療制度改革などのすべての要因が含まれる。「医療の高度化」を強調するのは不適切である。
- ◆ 本稿では、人口増減と高齢化から推計される医療費の伸びと、実際の医療費の推移を比較した。
- ◆ 脳血管疾患（入院）、虚血性心疾患（入院）は、高齢化による医療費増が見込まれたが、高齢者の受療率低下が顕著であり、実際の医療費は、人口増減と高齢化から計算した医療費を下回った。特に虚血性心疾患は、高齢者の平均在院日数の低下が顕著であった。
- ◆ 悪性新生物は、入院で平均在院日数の短縮化が進んだ一方、入院外の患者が増加した。入院外では他の傷病に比べて高齢者の単価が上昇している点が特徴的であり、外来化学療法など、医療の高度化の影響もあるのではないかと推察された。
- ◆ 精神及び行動の障害では、若年層の受療率が増加し、医療費が予測以上の伸びを示した。

## 目 次

1. 分析の目的と背景	4
2. 国民医療費の概観	
(1) 医療費総額	5
(2) 1人当たり医療費	7
3. 国民医療費の伸びの分解	
(1) 伸びの内訳	9
(2) 診療種類別の医療費の伸び	13
4. 診療種類別の医療費の伸び	
(1) 人口増減と高齢化による医療費の伸び	16
(2) 医療費の伸びの背景	19
5. 傷病別の医療費の伸び	
(1) 傷病別医療費の概要	23
(2) 入院の傷病別医療費	25
(3) 入院外の傷病別医療費	35
6. まとめ	45

資料 人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費の計算プロセス

<診療種類別>

1. 一般診療医療費（入院）	47
2. 一般診療医療費（入院外）	49
3. 歯科診療医療費	51
4. 薬局調剤医療費	53

<傷病分類別>

5. 悪性新生物（入院）	55
6. 脳血管疾患（入院）	56
7. 虚血性心疾患（入院）	57
8. 精神及び行動の障害（入院）	58
9. 高血圧性疾患（入院外）	59
10. 糖尿病（入院外）	60
11. 悪性新生物（入院外）	61
12. 精神及び行動の障害（入院外）	62

参考文献	63
------	----

## 1. 分析の目的と背景

2008年8月28日、厚生労働省から、2006年度の国民医療費が発表された。2006年度の国民医療費は33兆1,276億円であり、前年度比0.004%減であった。そしてこれについて厚生労働省が「高齢化の進展で前年度比1.3%増、医療の高度化を含む自然増で1.8%増だったものの、マイナス3.16%の改定によって結果的に0.004%減となった」と説明したと報じられた<sup>1</sup>。

厚生労働省はこれまでも、診療報酬改定、人口増、高齢化以外の医療費の伸びの要因を「医療の高度化を含む自然増」と説明してきた。しかし長期にわたる医療費抑制政策の結果、医療崩壊に直面している医療現場にとって、「医療の高度化」は現実感のないことであった。

そこで、ほんとうに「医療の高度化」と言えるのかを検証するため、国民医療費の伸びについて、診療種類別、年齢階級別、傷病別等の視点から、あらためて分析を行なった。

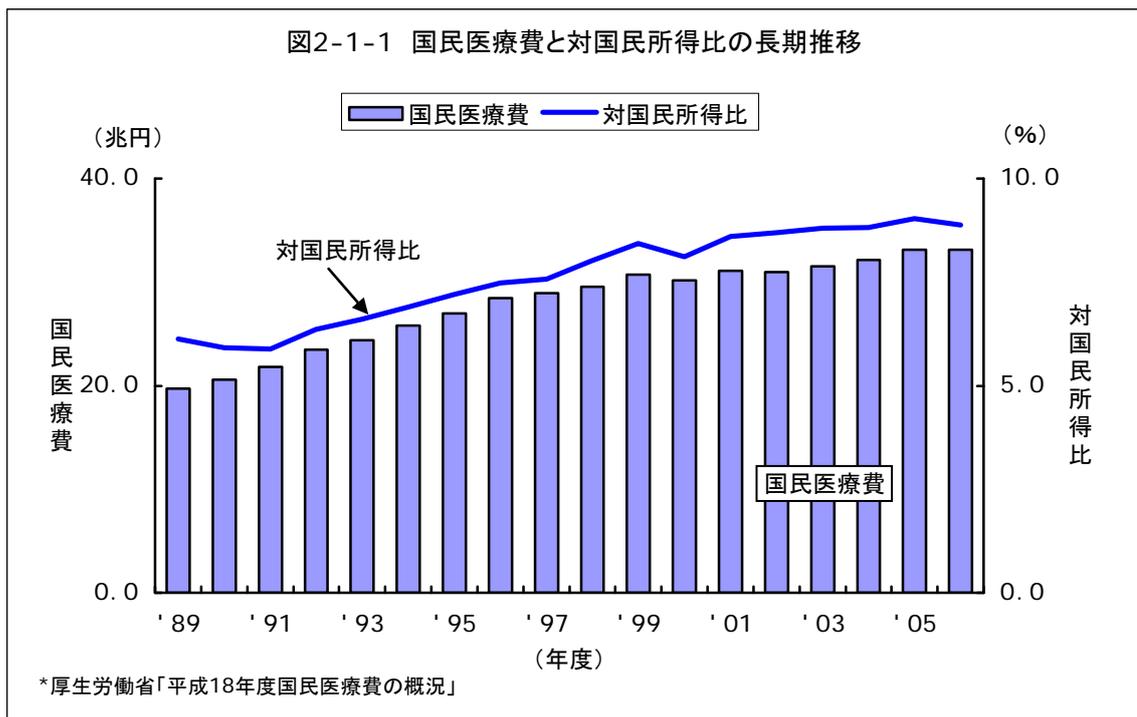
---

<sup>1</sup> 2008年8月29日付メディアファクス7面

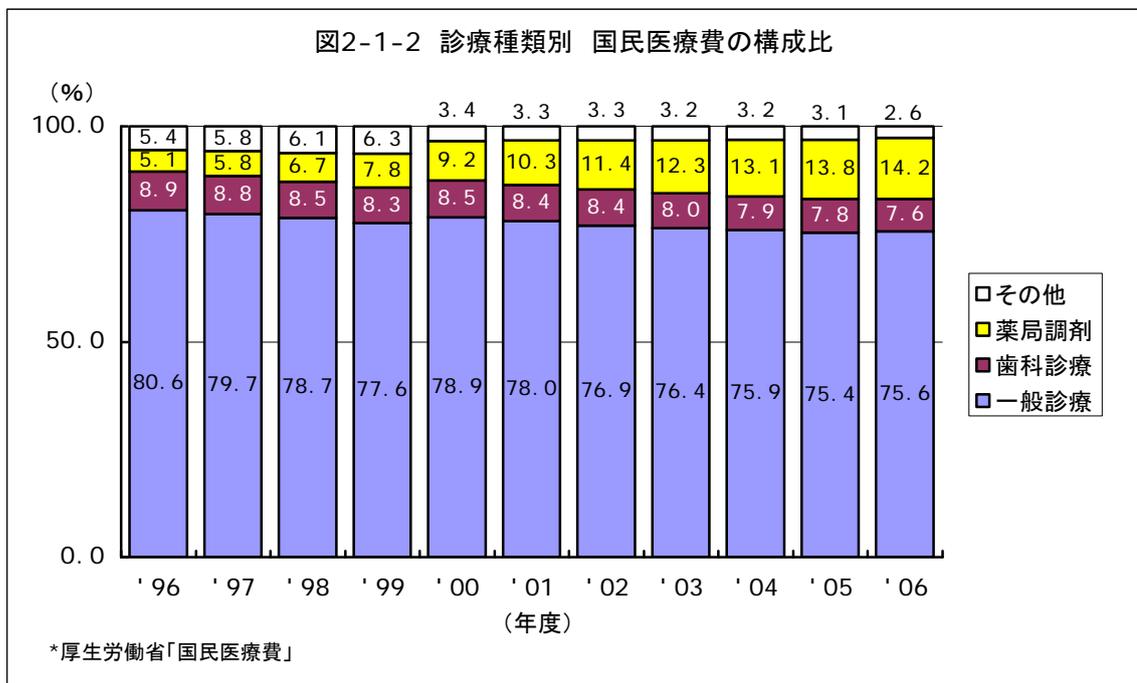
## 2. 国民医療費の概観

### (1) 医療費総額

2006年度の国民医療費は33兆1,276億円であり、前年度の33兆1,289億円に比べて13億円減(▲0.004%)であった。また2006年度は、国民所得が前年度比1.8%増の373兆2,466億円であり、国民医療費の対国民所得比は8.9%と前年度の9.0%を下回った。対国民所得比が低下するのは、介護保険が導入された2000年度を除くと、いわゆる「バブル」期(おおむね1986年末から1991年初まで)以来のことである。



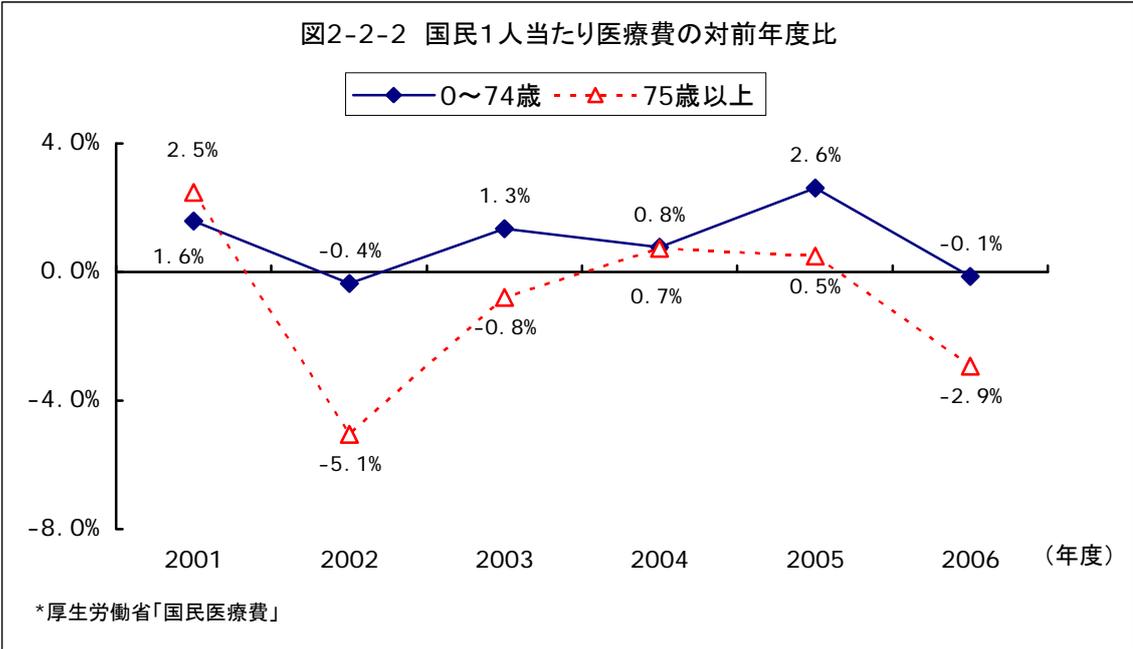
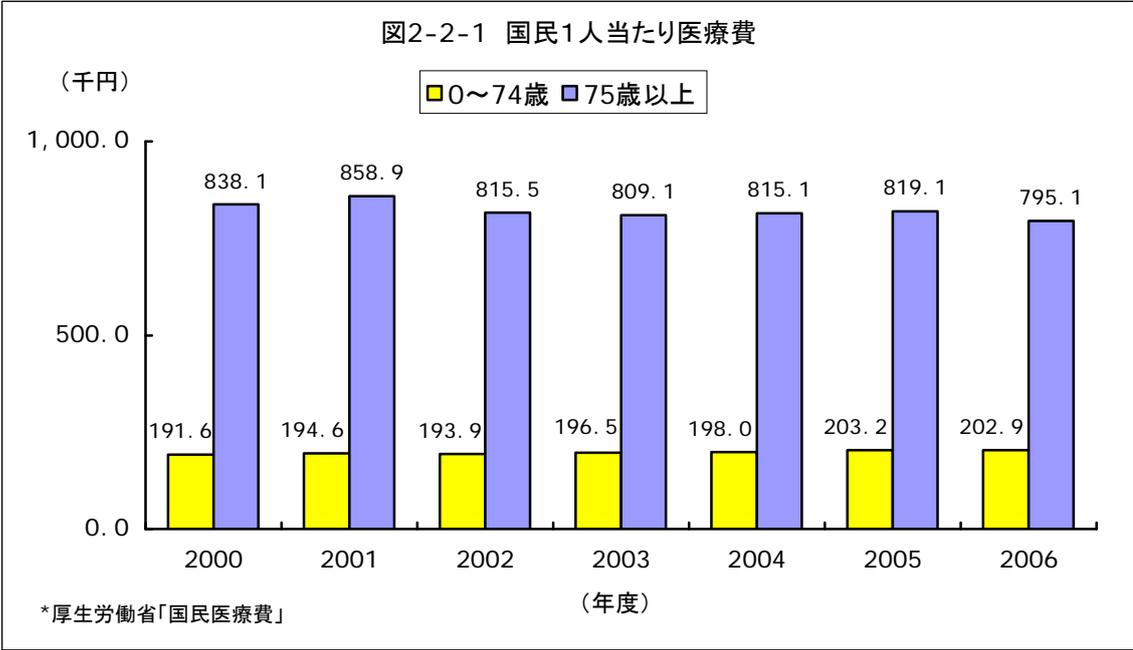
2006年度の診療種類別の構成比は、一般診療医療費 75.6%、歯科診療医療費 7.6%、薬局調剤医療費 14.2%、その他（入院時食事・生活医療費、訪問看護医療費）2.6%であった。10年前の1996年度と比較すると、一般診療医療費の構成比が 80.6%から 75.6%へ 5.0ポイント低下し、薬局調剤医療費の構成比が 5.1%から 14.2%へ 9.1ポイント上昇した。



## (2) 1人当たり医療費

2006年度の1人当たり医療費（以下、患者1人当たり医療費と明確に区別するため、「国民1人当たり医療費」と呼ぶ）は、0～74歳 202.9千円（対前年度比▲0.1%）、75歳以上 795.1千円（同▲2.9%）であった。

75歳以上の対前年度比は、2002年度以降、マイナスか横ばいに止まっている。高齢者の医療費は、高齢者人口が増加する分には増えるが、国民1人当たり医療費の伸びは抑制されている。



### 3. 国民医療費の伸びの分解

#### (1) 伸びの内訳

厚生労働省は、国民医療費の伸びの要因を4つに分類しており、2006年度は、①診療報酬改定及び薬価基準改正による影響(以下、診療報酬改定等)▲3.16%、②人口増0.0%、③人口の高齢化+1.3%、④その他+1.8%と説明している。

国民医療費全体は33兆1,276億円であり、前年度の33兆1,289億円に比べて▲0.004%である。

表3-1-1 国民医療費の伸びの内訳(2006年度)

	対前年度比
① 診療報酬改定及び薬価基準改正による影響	-3.16%
② 人口増	0.0%
③ 人口の高齢化	1.3%
④ その他	1.8%
全体	-0.004%

\*四捨五入差があるため内訳と合計が一致しないところがある。

### 人口の高齢化による医療費の伸び

「③人口の高齢化」による医療費の増減は、年齢階級別の国民1人当たり医療費を一定とした時、人口構成の変化のみによって生じる医療費の増減を指す。

2006年度の場合、2005年度の年齢階級別国民1人当たり医療費に2006年度の年齢階級別人口を掛けて、国民1人当たり医療費が一定の時の医療費を計算し、前年度からの伸び率を求める。

(A) 国民1人当たり医療費が一定の場合の2006年度の医療費の伸び

$$\begin{aligned} &= (\text{2005年度の年齢階級別国民1人当たり医療費} \times \text{2006年度の年齢階級別人口}) \\ &\div (\text{2005年度の年齢階級別国民1人当たり医療費} \times \text{2005年度の年齢階級別人口}) \end{aligned}$$

国民1人当たり医療費が一定の場合の医療費の伸びは、「人口増減×人口の高齢化」でも計算できる

(A) 国民1人当たり医療費が一定の場合の2006年度の医療費の伸び

$$= (B) \text{人口増減} \times (C) \text{人口の高齢化による医療費の増減}$$

したがって、人口の高齢化による医療費の増減は、次のように計算される（表3-1-2）。

(C) 人口の高齢化による医療費の増減

$$= (A) \text{国民1人当たり医療費が一定の場合の2006年度の医療費の伸び} \div (B) \text{人口増減}$$

表3-1-2 人口の高齢化による医療費の伸びの計算方法  
2005年度から2006年度にかけての伸び

	2005年度(実績)			2006年度 (1人当たり医療費が同じとして計算)		
	1人当たり 医療費 (千円) ①	人口 (千人) ②	国民医療費 (億円) ③=①×②	2005年度の 1人当たり 医療費 (千円) ④=①	人口 (千人) ⑤	国民医療費 (億円) ⑥=④×⑤
0～4歳	208.0	5,599	11,646	208.0	5,504	11,448
5～9	109.2	5,950	6,497	109.2	5,923	6,468
10～14	76.6	6,036	4,624	76.6	6,007	4,601
15～19	66.6	6,593	4,391	66.6	6,424	4,278
20～24	78.7	7,381	5,809	78.7	7,313	5,755
25～29	98.2	8,314	8,164	98.2	8,014	7,870
30～34	108.4	9,795	10,618	108.4	9,643	10,453
35～39	120.9	8,772	10,605	120.9	9,273	11,211
40～44	136.4	8,113	11,066	136.4	7,982	10,887
45～49	160.7	7,755	12,462	160.7	7,694	12,364
50～54	211.8	8,828	18,698	211.8	8,419	17,831
55～59	266.5	10,294	27,434	266.5	10,825	28,849
60～64	353.9	8,577	30,354	353.9	8,143	28,818
65～69	443.1	7,460	33,055	443.1	7,624	33,782
70～74	608.2	6,661	40,512	608.2	6,814	41,443
75歳以上	819.1	11,639	95,335	819.1	12,166	99,652
合計	—	⑦ 127,768	⑧ 331,270	—	⑨ 127,770	⑩ 335,711

(A) 1人当たり医療費が変わらない場合の医療費の増減(⑩÷⑧)	1.0134
(B) 人口増減による医療費の増減(⑨÷⑦)	1.0000
(C) 人口の高齢化による医療費の増減((A)÷(B))	1.0134

\*年齢階級別医療費および人口に四捨五入差があるため、2005年度の国民医療費(⑧)は331,270億円と計算されているが、2005年度の医療費総額は331,289億円。

## 医療費の伸びのうち「その他」とは

厚生労働省は、国民医療費の伸びのうち「その他」について、「医療の高度化等の自然増」<sup>2</sup>「医療の技術の進歩・高度化等」<sup>3</sup>と説明してきた。

医療費は、「患者数×単価」で決まり、患者数は「人口×受療率」で決まる。受療率は入院の場合は平均在院日数、外来の場合は通院回数等に影響される。平均在院日数は、医療制度改革等を通じてその短縮化が図られている。また、通院回数は、長期投薬や患者一部負担割合の引き上げによって抑制される。

つまり、医療費の伸びは、「医療の高度化」のみならず、疾病構造の変化、受療率の変化、その背景にある医療制度改革によって影響される部分も大きい。  
「医療の高度化」を強調するのは不適切である。

### その他の要因による医療費の増減

＝国民医療費の伸び－診療報酬改定等による医療費の増減

－人口増による医療費の増減－人口の高齢化による医療費の増減

<sup>2</sup> 「医療保険制度改革について」第48回市町村セミナー（2005年7月11日）、厚生労働省保険局

<sup>3</sup> 「社会保障国民会議における検討に資するために行う医療・介護費用のシミュレーションの前提について」社会保障国民会議サービス保障（医療・介護・福祉）分科会、2008年9月9日

## (2) 診療種類別の医療費の伸び

診療報酬改定のなかった年について、診療種類別の医療費の伸びを、厚生労働省が示す要素（人口増、人口の高齢化、その他）で分解した。

薬局調剤医療費が大きな伸びを示しており、伸びの内訳の大部分は「その他」である。厚生労働省は「その他」の伸びを「医療の高度化等の自然増」と説明してきたことは前述のとおりであるが、薬局調剤医療費に「医療の高度化」があったのであろうか。この場合は、そうではなく、医薬分業政策による院外処方の方の拡大の影響であると推察される。

一般診療医療費の「その他」は、マイナスの年もある。「高度化」の逆は「後退」ということになるが、これも平均在院日数の短縮化や長期投薬によって受療率が下がっているためであると推察される。このことから、診療報酬改定等、人口増減、高齢化以外の医療費の伸びについて「医療の高度化」を強調することは不適切である。

表3-2-1 国民医療費の診療種類別の伸びの内訳－診療報酬改定のない年－

	要因	国民医療費	一般診療	歯科診療	薬局調剤	入院時食	訪問看護
			医療費	医療費	医療費	事医療費	医療費
2001年度	人口増減	0.29%	0.29%	0.29%	0.29%	0.29%	0.29%
	高齢化	1.70%	1.71%	0.40%	1.56%	2.21%	3.07%
	その他	1.19%	-0.09%	1.16%	14.58%	-2.54%	11.94%
	全体	3.18%	1.91%	1.85%	16.43%	-0.04%	15.30%
2003年度	人口増減	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%
	高齢化	1.60%	1.66%	0.42%	1.59%	6.12%	2.55%
	その他	0.15%	-0.64%	-2.50%	8.49%	-6.47%	-0.04%
	全体	1.90%	1.16%	-1.93%	10.23%	-0.20%	2.65%
2005年度	人口増減	0.06%	0.06%	0.06%	0.06%	0.06%	0.06%
	高齢化	1.80%	1.94%	0.61%	1.69%	2.59%	2.80%
	その他	1.31%	0.48%	0.86%	7.01%	-2.38%	7.08%
	全体	3.17%	2.48%	1.53%	8.76%	0.28%	9.95%

\*厚生労働省「国民医療費」から計算

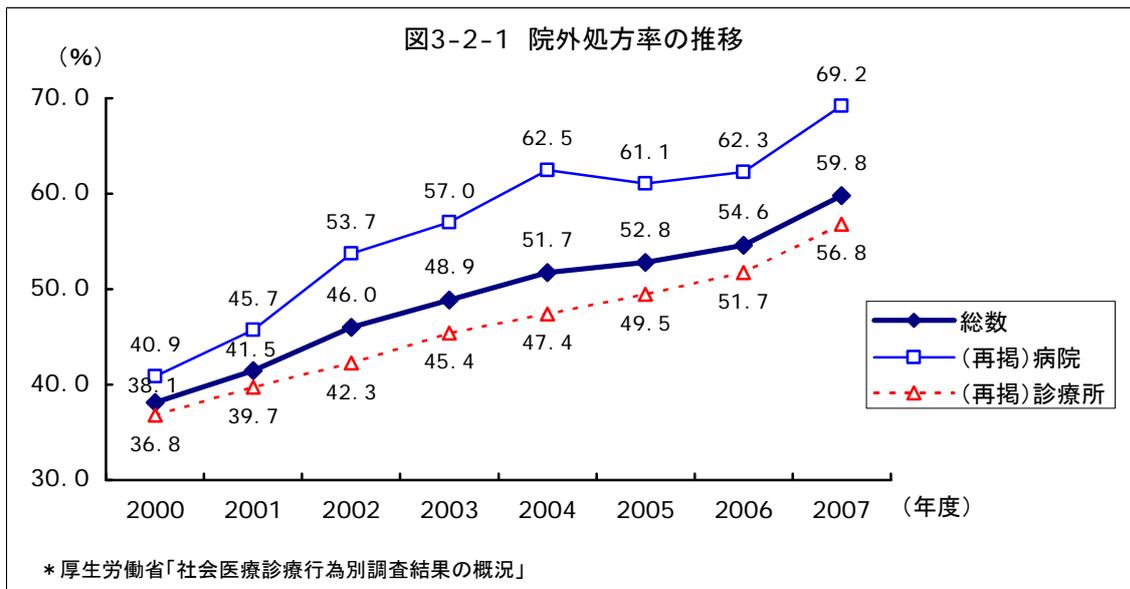
## 医薬分業について

院外処方を拡大させるため、処方料に比べて、処方せん料の診療報酬点数が高く設定されている。院外処方率は2000年には38.1%であったが、2007年には59.8%になっている。

表3-2-2 医科(入院外)の主な投薬料(2006年・2007年)

		点数
院内	調剤料 入院外(内服薬・浸煎薬・屯服薬)	9
	調剤料 入院外(外用薬)	6
	調剤料 入院	7
	処方料1 7種類以上の内服薬の投薬	29
	処方料2 1以外の場合	42
	処方料 乳幼児 加算	3
	処方料 特定疾患処方管理 加算	15
	処方料 特定疾患処方管理 長期投薬 加算	65
	調剤技術基本料 その他(入院以外)	8
院外	処方せん料1 7種類以上の内服薬(Ⅰ後発医薬品を含む)	42
	処方せん料1 7種類以上の内服薬(ロⅠ以外)	40
	処方せん料2 1以外の場合(Ⅰ後発医薬品を含む)	70
	処方せん料2 1以外の場合(ロⅠ以外)	68
	処方せん料 乳幼児 加算	3
	処方せん料 特定疾患処方管理 加算	15
	処方せん料 特定疾患処方管理 長期投薬 加算	65

\*厚生労働省「平成19年社会医療診療行為別調査」



人口増減の影響は、どの診療種類でも同じであるが、人口の高齢化の影響は、同じ年でも、診療種類によってバラツキがある（13頁表3-2-1）。これは、もともと高齢者の国民1人当たり医療費が高く若年層との差が大きいものは、高齢化の影響を受けやすいためであり、特に入院時食事医療費<sup>4</sup>、訪問看護医療費にその傾向が出ている。

逆に若年層と高齢者とで国民1人当たり医療費の差が小さい歯科診療医療費は、高齢化の影響をあまり受けない。

表3-2-3 診療種類別 75歳区分での国民1人当たり医療費

2005年度 (千円)						
	国民医療費	一般診療医療費	歯科診療医療費	薬局調剤医療費	入院時食事医療費	訪問看護医療費
0～74歳	203.2	148.9	19.7	29.8	4.7	0.2
75歳以上	819.1	659.9	24.8	94.7	37.8	1.8
差(倍)	4.03	4.43	1.26	3.18	8.13	9.89

2006年度 (千円)						
	国民医療費	一般診療医療費	歯科診療医療費	薬局調剤医療費	入院時食事医療費	訪問看護医療費
0～74歳	202.9	148.4	19.0	31.4	未公表	-
75歳以上	795.1	648.8	25.0	88.7		-
差(倍)	3.92	4.37	1.31	2.83		-

\*厚生労働省「国民医療費」から計算

<sup>4</sup> 2006年度からは入院時食事・生活医療費になっている。

#### 4. 診療種類別の医療費の伸び

##### (1) 人口増減と高齢化による医療費の伸び

ここでは、国民1人当たり医療費が2000年度から変わらないとして、人口増減と高齢化によってのみ伸びると想定される医療費と、実際の医療費とを比較する。ただし人口は、2000年度を100としたとき、2006年度は100.7であるので、ほとんど影響がない。

まず、2000年度の年齢階級別国民1人当たり医療費を起点として、2006年度まで、人口増減および高齢化によって伸びるべき医療費を計算する（巻末に計算プロセスを示した）。

2006年度の人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費

= 2000年度の年齢階級別国民1人当たり医療費 × 2006年度の年齢階級別人口

「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」と実際の医療費との乖離の要因は、人口増減および高齢化要因以外のすべてであり、診療報酬改定、疾病構造の変化、受療率の変化、その背景にある医療制度改革、医療の高度化などである。最近の診療報酬改定率は表4-1-1のとおりである。

表4-1-1 最近の診療報酬改定率(医療費ベース)

	2002年度	2004年度	2006年度	2008年度
本体部分	-1.30%	0.00%	-1.36%	0.38%
医科	-1.30%	0.00%	-1.50%	0.42%
歯科	-1.30%	0.00%	-1.50%	0.42%
調剤	-1.30%	0.00%	-0.60%	0.17%
薬価・材料価格	-1.40%	-1.05%	-1.80%	-1.20%
診療報酬全体	-2.70%	-1.05%	-3.16%	-0.82%

### 一般診療医療費（入院）

「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」は、2000年度を100として、2006年度には113.7になるはずであったが、実際の医療費は108.4であり、5.3ポイント下回った。診療報酬改定のほか、平均在院日数の短縮化、療養病床の削減、入院時食事療養費および生活療養費の見直しなどの影響があるものと推察される。

### 一般診療医療費（入院外）

2006年度は109.8になるべきところ、実際には102.4であり、「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」を7.4ポイント下回った。診療報酬改定のほか、長期投薬による受診回数の減少の影響があると推察される。また患者の受診抑制も懸念される。

### 歯科診療医療費

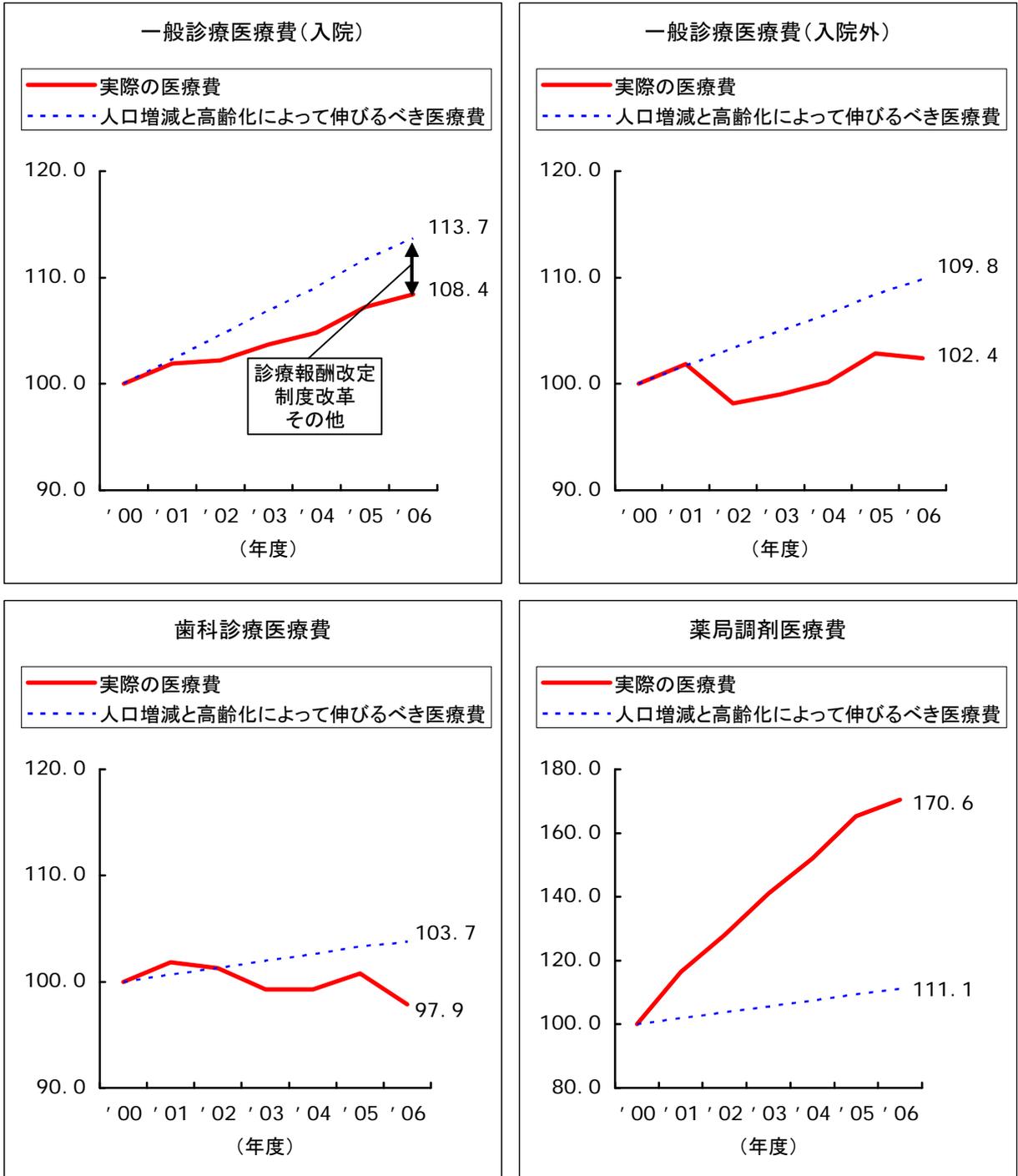
2006年度は103.7になるべきところ、実際には97.9であり、「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」を5.9ポイント下回った。なお歯科は他に比べて、「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」の伸びが小さい。若年層と高齢者の国民1人当たり医療費の差が小さく（14頁表3-2-2）、高齢化の影響をあまり受けないためである。

### 薬局調剤医療費

2006年度は111.1になるべきところ、実際には170.6であり、「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」を上回った。2000年度以降、調剤の診療報酬は、2004年度の±0%を除いてマイナス改定であり、診療報酬改定によるプラス要因はない。医薬分業政策による院外処方拡大によるものと推察される。

図4-1-1 診療種別別 国民医療費の推移－2000年度を100とする－

人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費：  
 年齢階級別医療費を一定（2000年度のまま）とした時、人口増減と人口の高齢化のみの  
 変化から計算される医療費



\*厚生労働省「国民医療費」から試算

## (2) 医療費の伸びの背景

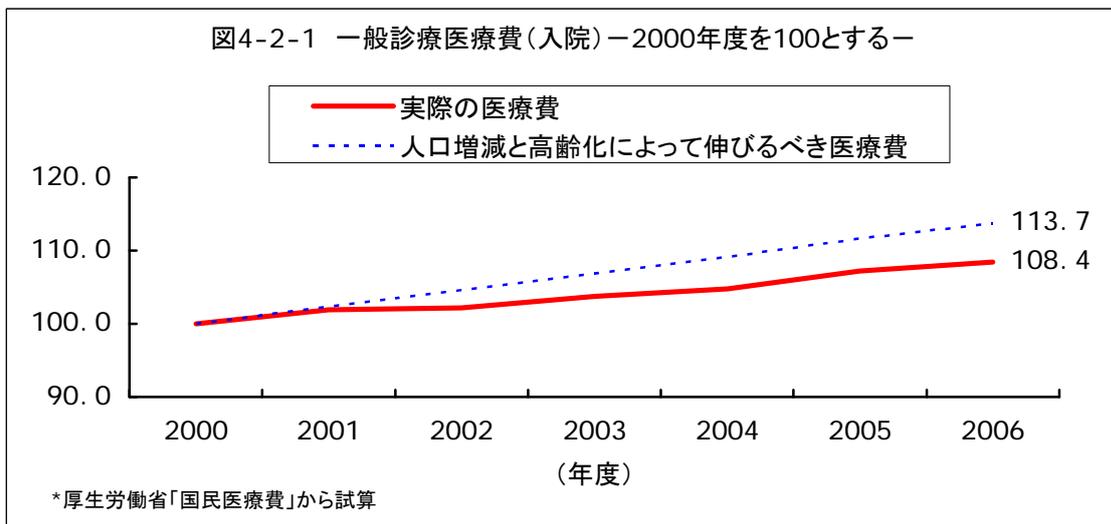
### 一般診療医療費（入院）

「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」は2006年度には113.7と計算されたが、実際の医療費は108.4に止まった。主として、高齢者の受療率が低下しているためであり、その背景には平均在院日数の短縮化がある。

平均在院日数は、2002年から2005年にかけて、総数では37.9日から37.5日へと0.4日、70歳以上では、55.2日から52.5日へと2.7日短縮された。

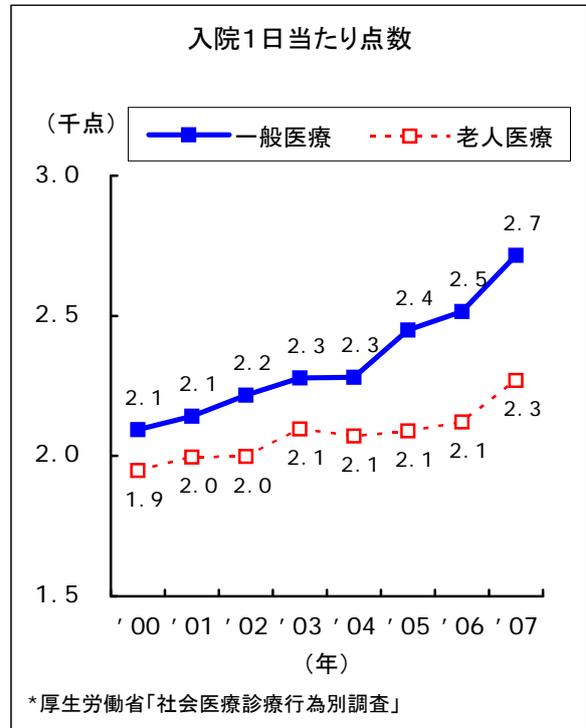
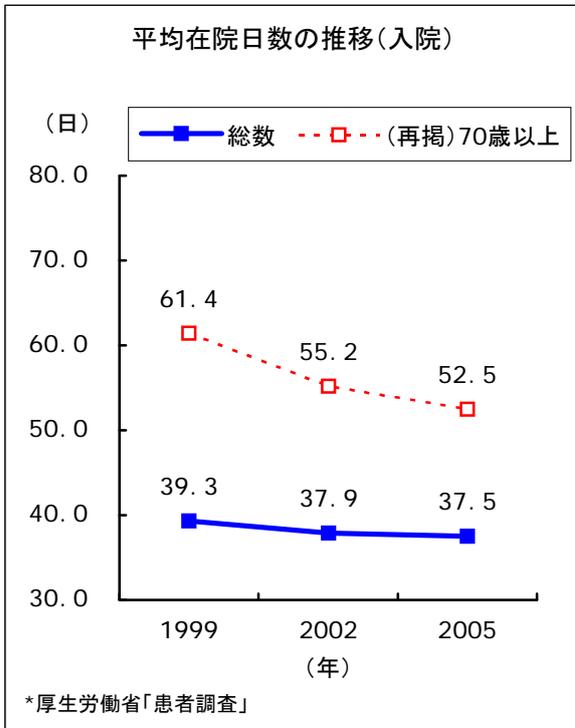
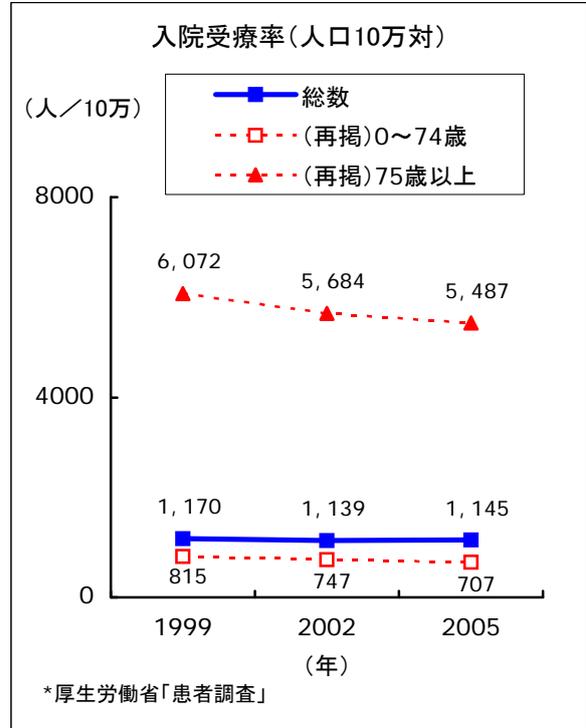
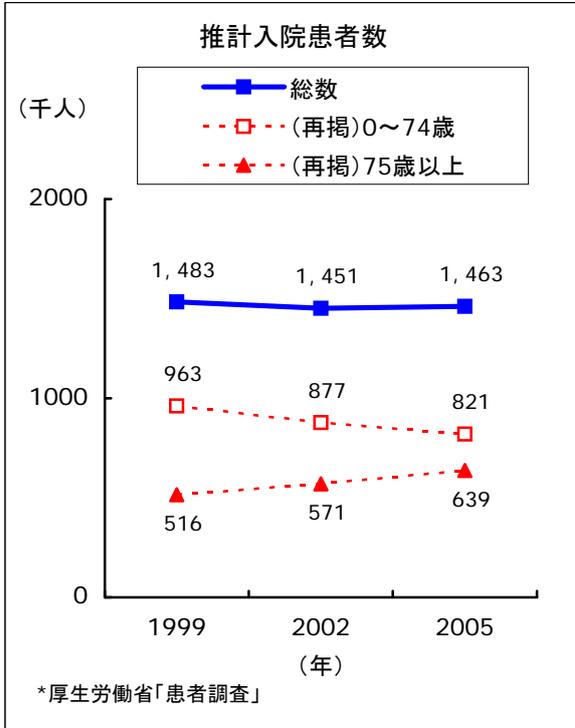
一般では、平均在院日数が短くなった一方、入院1日当たり点数が上昇しており、1日当たりの医療の中味が濃くなっていることがうかがえる。高齢者では入院1日当たり点数の伸びは緩やかであり、一般ほどには医療の中味に変化がなかったものと推察される。

なお、2006年度には入院時食事療養費および生活療養費の見直し<sup>5</sup>も実施されている。



<sup>5</sup> 2006年4月から、入院時食事療養に係る費用の額：1日1,920円→1食640円（入院時食事療養（I）の場合）。2006年10月から、入院時生活療養に係る費用の額：（入院時生活療養（I）の場合）70歳以上の療養病床入院患者 食費1食につき554円、居住費1日につき398円

図4-2-2 一般診療医療費(入院) 患者数、受療率、平均在院日数、1日当たり点数



※「患者調査」は9月1か月の調査、「社会医療診療行為別調査」は6月審査分

### 一般診療医療費（入院外）

「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」は2006年度には109.8と計算されたが、実際の医療費は102.4に止まった。なお受療率は2002年から2005年にかけて上昇しているが、データとして用いた「患者調査」がある1日の調査（入院の退院患者については1か月）であり、年ごとにバラツキが出やすい点に留意しておく必要がある。

通院回数でみると、老人では、2000年の2.7日から2004年の2.2日へと、この間0.5日減少し、その後は横ばいである。一般の通院回数はゆるやかに減少しつづけている。

1日当たり点数は、入院が右肩上がりであったのに対し、入院外では年によって増減があり、一般、老人の傾向も異なっていた。ただし、いずれも入院ほどには増加していない。

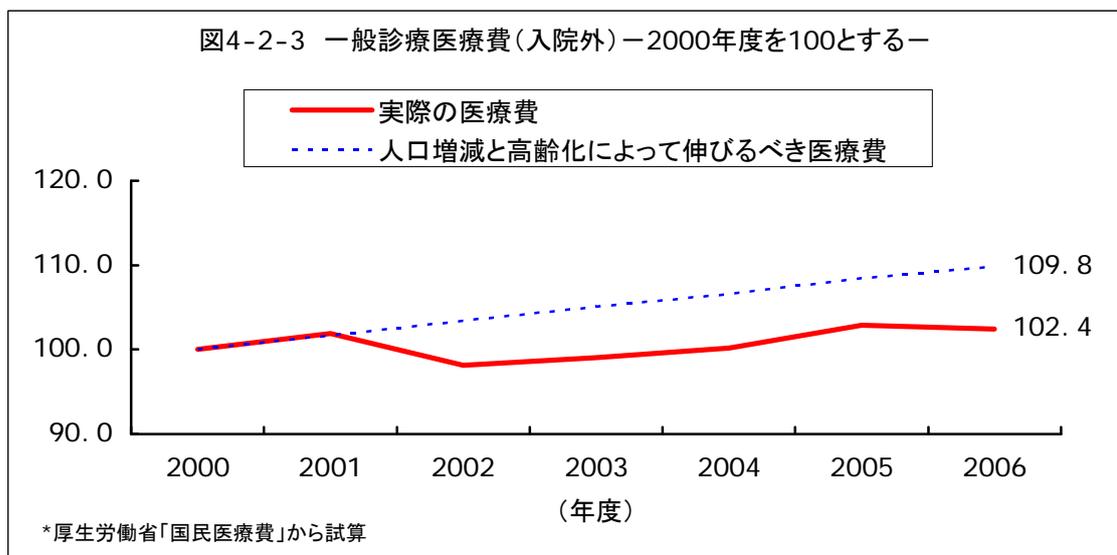
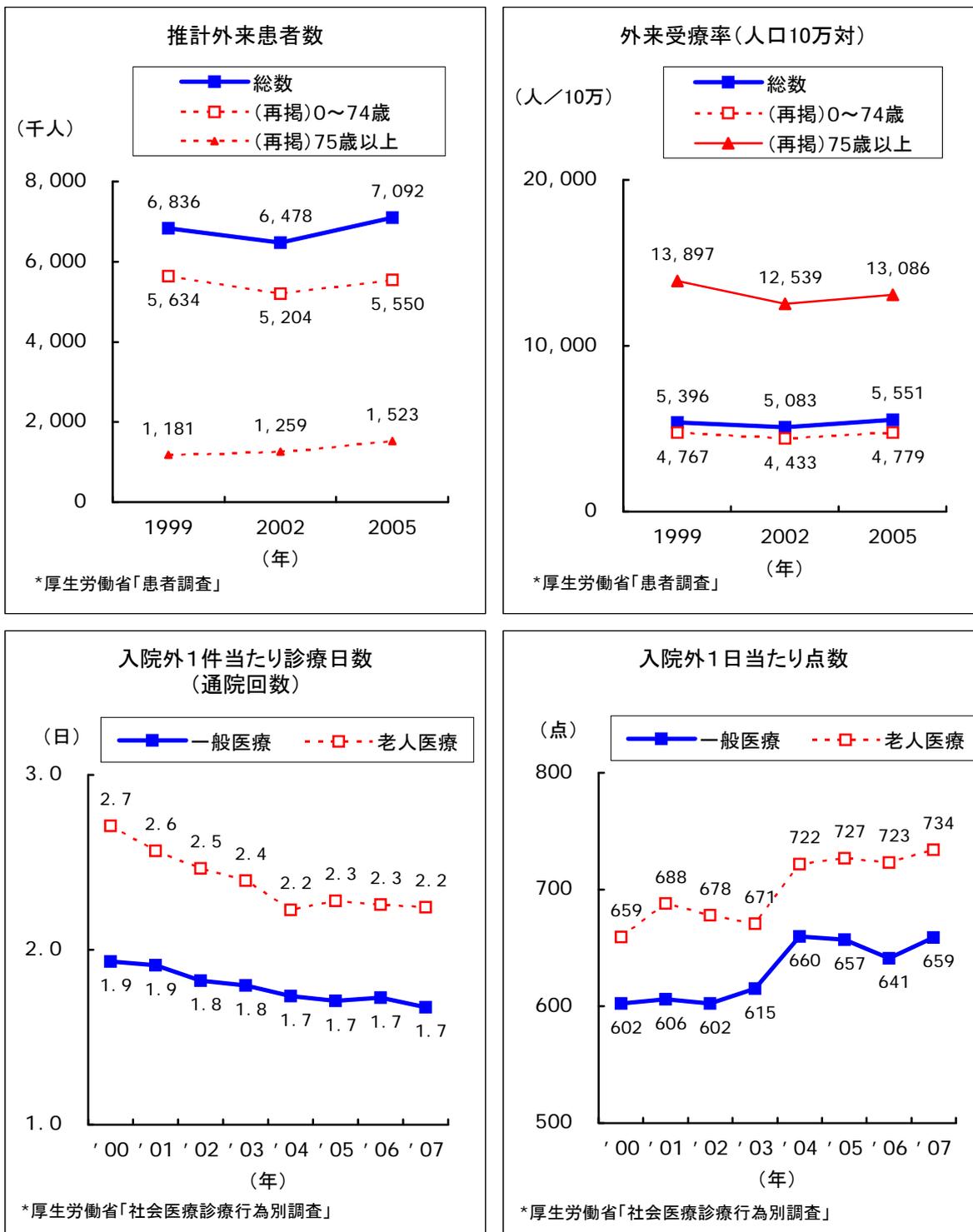


図4-2-4 一般診療医療費(入院外) 患者数、受療率、通院回数、1日当たり点数



※「患者調査」は10月中の1日の調査、「社会医療診療行為別調査」は6月審査分

## 5. 傷病別の医療費の伸び

### (1) 傷病別医療費の概要

傷病別についても、診療種類別と同様に2000年度を起点に、人口増減と高齢化によって伸びたであろう医療費を「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」とし、実際の医療費と比較した。分析を行なったのは、それぞれ入院、入院外医療費の3%以上を占める以下の傷病分類である(巻末に計算プロセスを示した)。

表5-1-1 傷病別 一般診療医療費(2006年度)

入院		(億円)	
		金額	構成比
全体		122,543	100.0%
(再掲)	悪性新生物	17,306	14.1%
	脳血管疾患	15,229	12.4%
	虚血性心疾患	4,522	3.7%
	精神及び行動の障害	14,535	11.9%
	小計	51,592	42.1%
入院外		(億円)	
		金額	構成比
全体		127,925	100.0%
(再掲)	高血圧性疾患	19,711	15.4%
	糖尿病	7,575	5.9%
	悪性新生物	7,530	5.9%
	精神及び行動の障害	4,834	3.8%
	小計	39,650	31.0%

\*厚生労働省「平成18年度国民医療費の概況」

「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」は、高齢者の国民1人当たり医療費が高く、若年層との差が大きい傷病で、高齢化の影響を受けやすいため高く計算される。入院では脳血管疾患、虚血性心疾患、入院外では高血圧性疾患である。

表5-1-2 傷病別 国民1人当たり一般診療医療費(2006年度)

入院 (千円)				
	悪性新生物	脳血管疾患	虚血性心疾患	精神及び行動の障害
0～74歳	10.5	6.2	2.4	9.7
75歳以上	42.1	66.1	14.5	27.7
差(倍)	4.0	10.6	6.1	2.9

入院外 (千円)				
	高血圧性疾患	糖尿病	悪性新生物	精神及び行動の障害
0～74歳	10.9	5.0	4.6	3.6
75歳以上	58.4	15.0	18.2	5.5
差(倍)	5.4	3.0	3.9	1.5

\*厚生労働省「平成18年度国民医療費の概況」から計算

## (2) 入院の傷病別医療費

脳血管疾患、虚血性心疾患は、高齢者の国民1人当たり医療費が高く、高齢化の影響で医療費増が見込まれていたが、2006年度の実際の医療費は「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」を下回った。高齢者を中心に、医療制度改革等を通じた平均在院日数の短縮化などの影響があったためと推察される。

悪性新生物、精神及び行動の障害は、実際の医療費が「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」を上回った。精神及び行動の障害は受療率が低下しているため、それ以外の要因で伸びたということになるが、内容は特定できなかった。

以下、悪性新生物、脳血管疾患の1日当たり点数は、「社会医療診療行為別調査」（厚生労働省）の傷病中分類を合計して計算した。

悪性新生物：

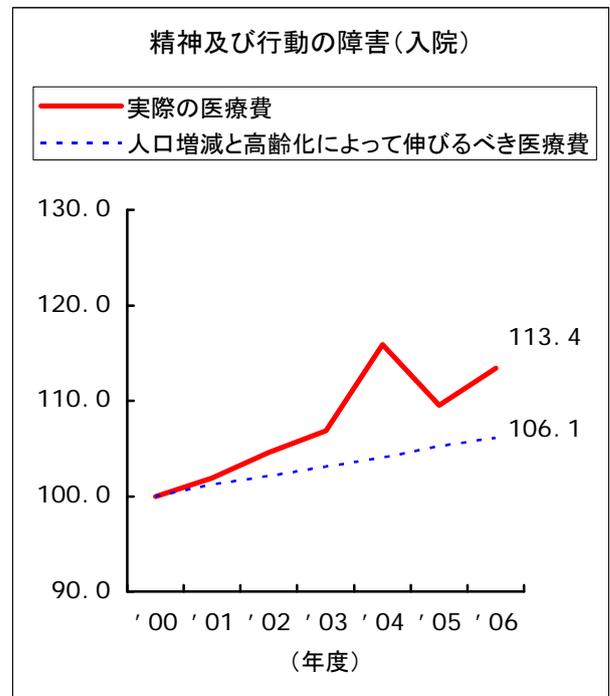
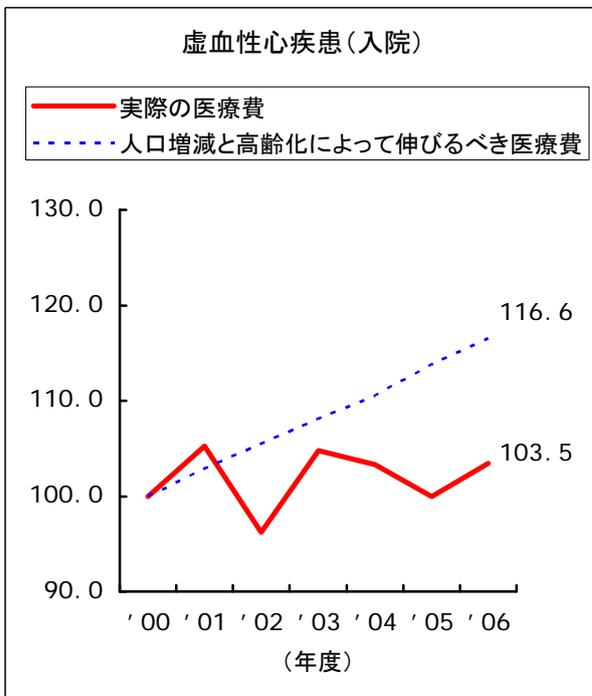
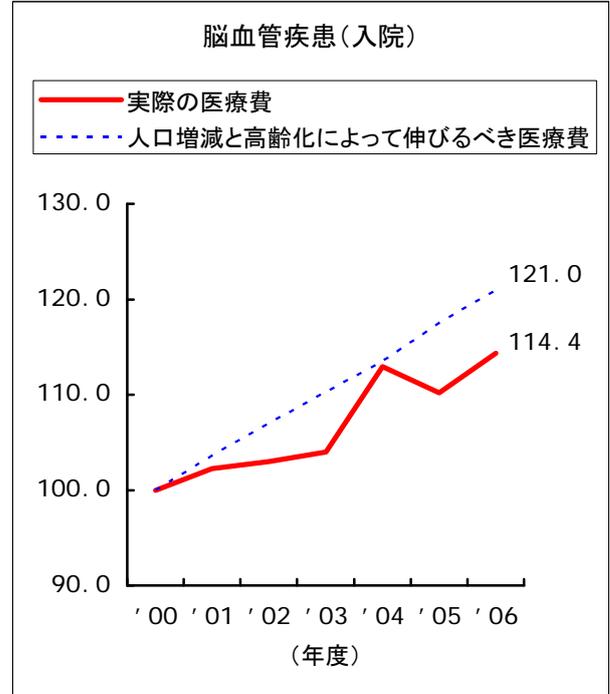
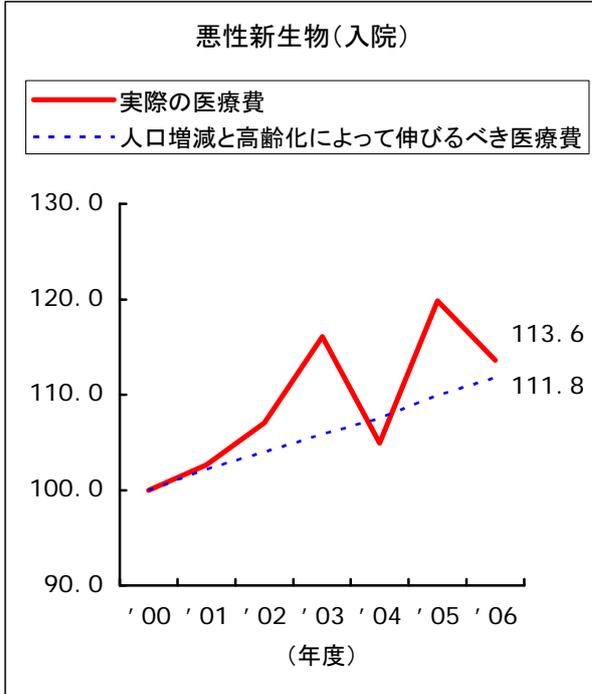
胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、直腸の悪性新生物、肝・肝内胆管の悪性新生物、気管、気管支・肺の悪性新生物、乳房の悪性新生物、子宮の悪性新生物、悪性リンパ腫、白血病、その他の悪性新生物

脳血管疾患：

くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化、その他の脳血管疾患

図5-2-1 傷病別 一般診療医療費(入院)の推移—2000年度を100とする—

人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費：  
 年齢階級別医療費を一定(2000年度のまま)とした時、人口増減と人口の高齢化のみの  
 変化から計算される医療費

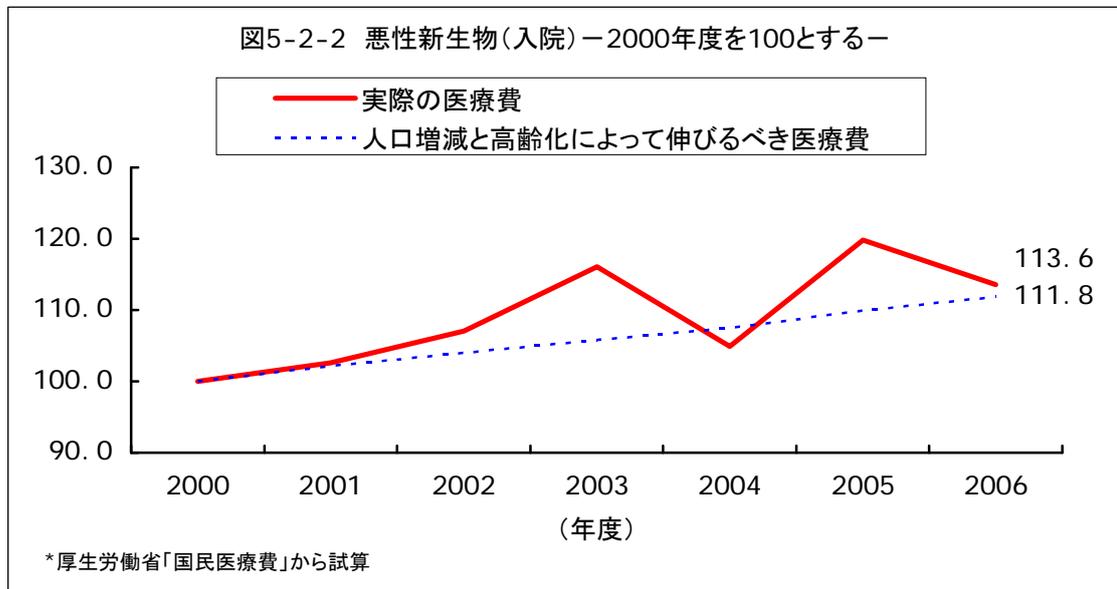


\*厚生労働省「国民医療費」から試算

## 悪性新生物（入院）

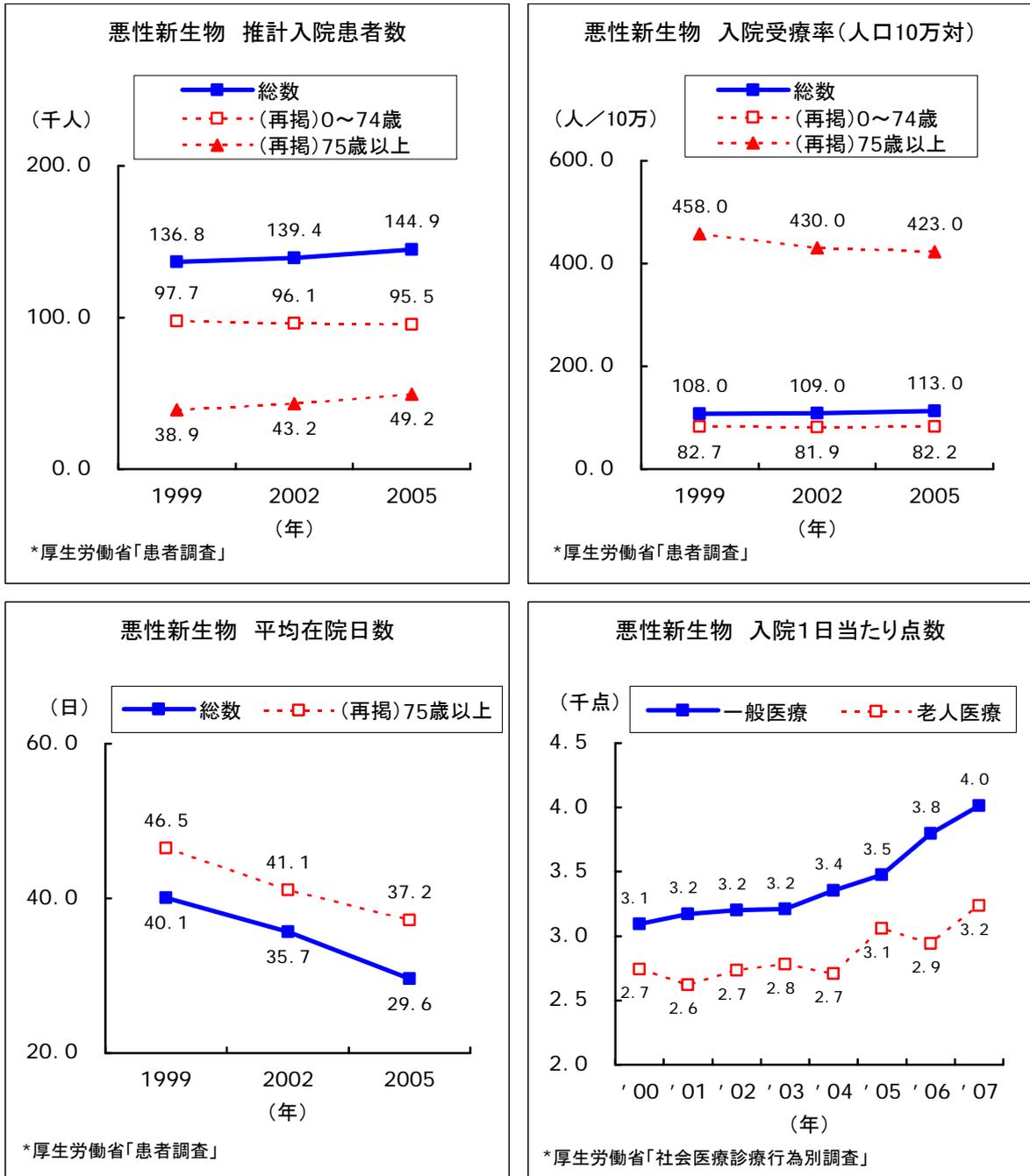
2006年度の実際の医療費は113.6であり、「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」111.8を上回った。平均在院日数は短くなっているが、受療率が総数でやや上昇し、患者数が増加している。

入院単価（1日当たり点数）は、一般で2004年以降かなり上昇している。医療の高度化もあるかもしれないが、もともと短い平均在院日数がさらに低下していることを鑑みると、DPC導入の影響もあるのではないかと推察される。



※DPC対象病院では、入院基本料、検査、画像診断、投薬、注射、医学管理料などが1日当たり包括評価（包括払い）で一定の点数になっているが、点数は在院日数が短いほど高く、長くなるにつれ段階的に引き下げられる。2005年度に特定機能病院を対象に導入され、その後、順次拡大している。

図5-2-3 悪性新生物(入院) 患者数、受療率、平均在院日数、1日当たり点数



※「患者調査」は9月1か月の調査、「社会医療診療行為別調査」は6月審査分  
 「患者調査」には0~74歳の受療率は掲載されていないので、「0~74歳患者数÷0~74歳人口」で計算した。

## 脳血管疾患（入院）

2006年度の「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」は121.0になるはずであったが、実際の医療費は114.4であった。

脳血管疾患は、高齢者の国民1人当たり医療費が高く、高齢化の影響を受けるはずであったが、75歳以上の受療率が低下しているためである。

ただし75歳以上は、2002年から2005年にかけて平均在院日数が1.8日延び、患者数も3.0%増加した。なお「患者調査」（厚生労働省）は、1か月分のみの調査であるので、今後の推移にも注目したい。

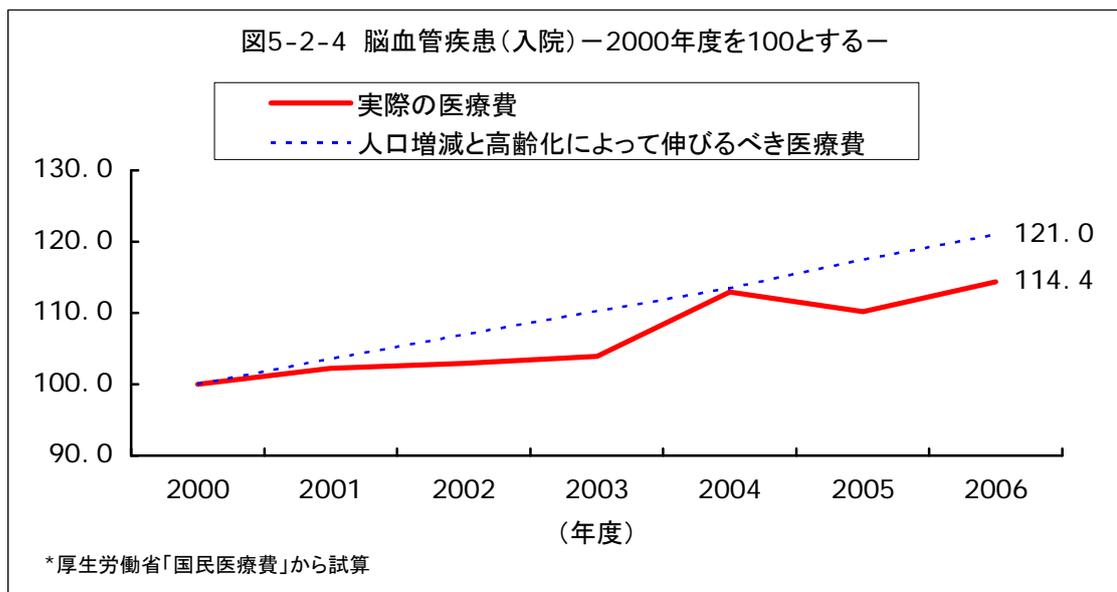
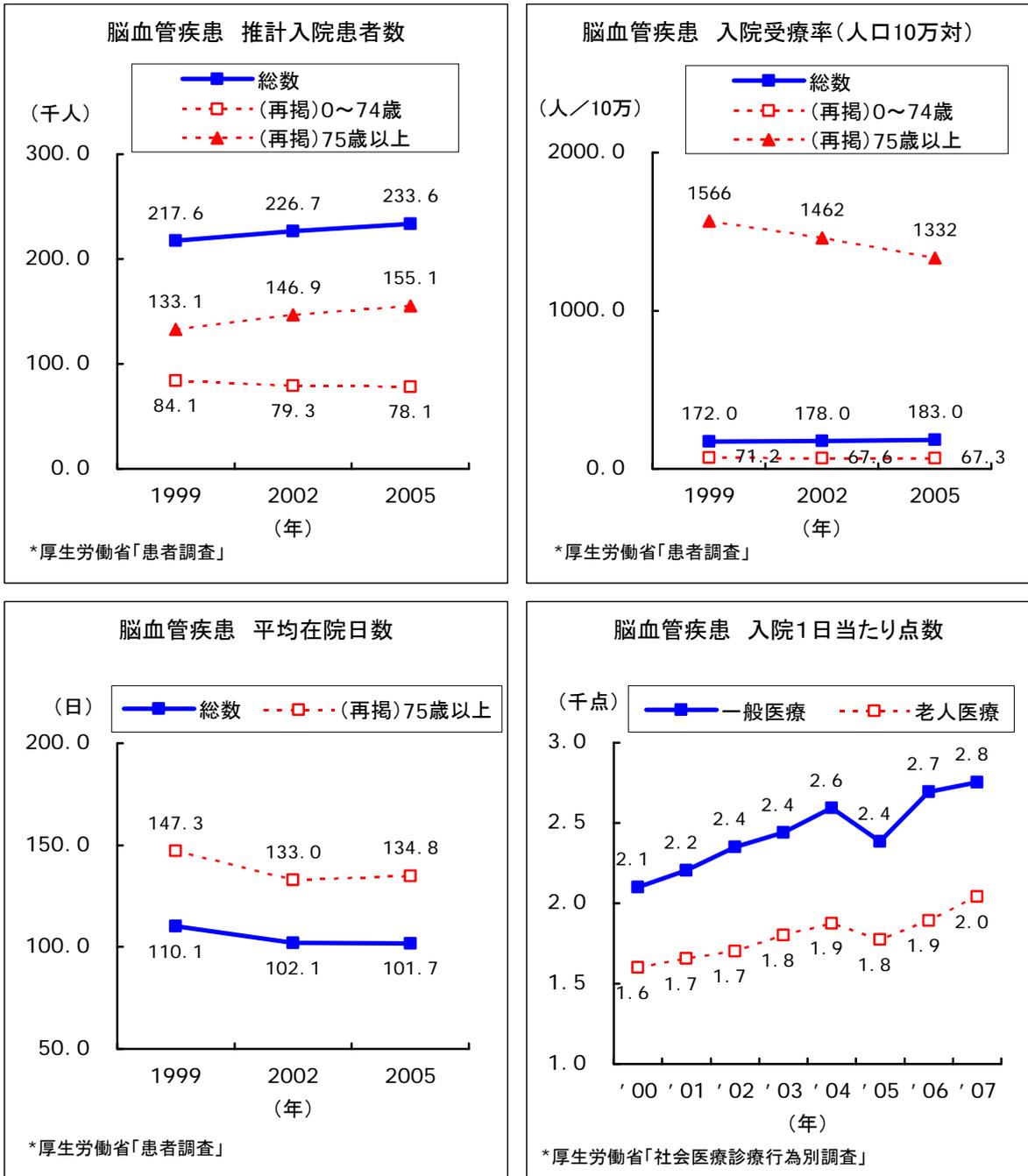


図5-2-5 脳血管疾患(入院) 患者数、受療率、平均在院日数、1日当たり点数



※「患者調査」は9月1か月の調査、「社会医療診療行為別調査」は6月審査分  
 「患者調査」には0~74歳の受療率は掲載されていないので、「0~74歳患者数÷0~74歳人口」で計算した。

## 虚血性心疾患（入院）

2006年度の「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」は116.6になるはずであったが、実際の医療費は103.5であった。0～74歳、75歳以上ともに、受療率が低下し、平均在院日数も短くなっている。

入院単価（1日当たり点数）は、一般と高齢者との間で差が拡大している。特に一般では、2000年から2006年（国民医療費が発表されている年）にかけて1.5倍、2000年から直近の2007年にかけて1.8倍増となっており、医療の高度化の影響も示唆されている。

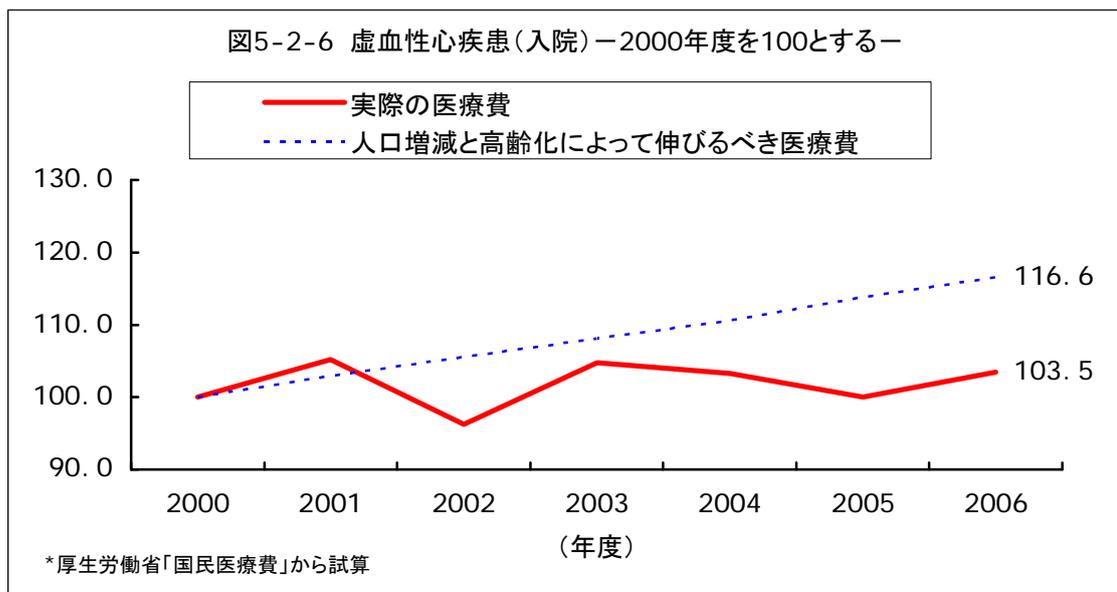
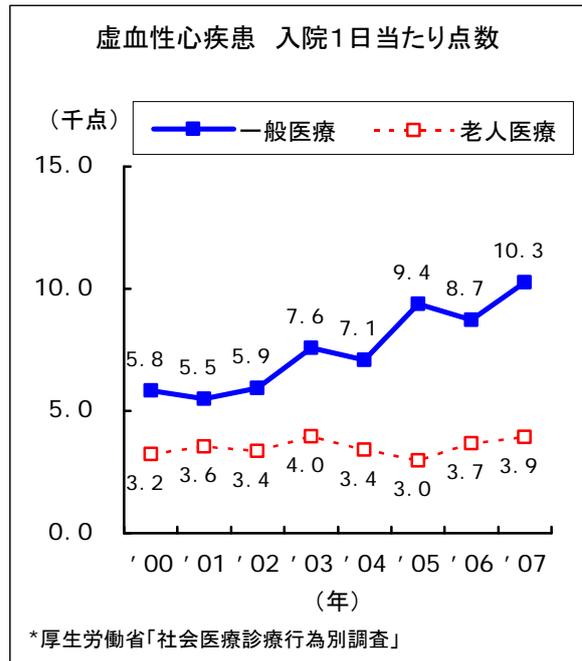
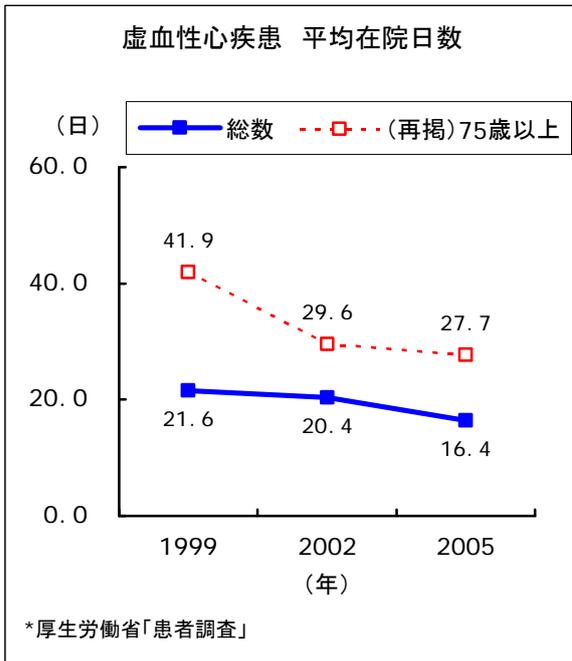
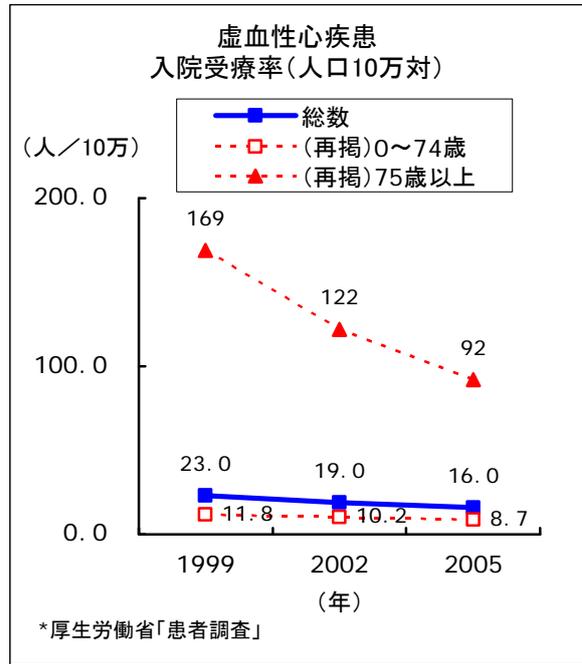
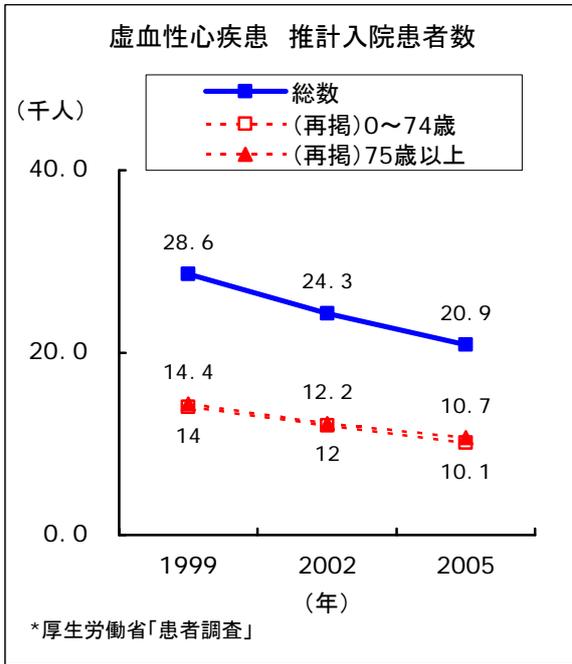


図5-2-7 虚血性心疾患(入院) 患者数、受療率、平均在院日数、1日当たり点数



※「患者調査」は9月1か月の調査、「社会医療診療行為別調査」は6月審査分  
 「患者調査」には0~74歳の受療率は掲載されていないので、「0~74歳患者数÷0~74歳人口」で計算した。

### 精神及び行動の障害（入院）

2006年度の実際の医療費は113.4であり、「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」106.1を上回った。精神及び行動の障害は、国民1人当たり医療費の年齢階級別の差が小さく、高齢化の影響を受けにくい。総数で見ると、患者数、受療率ともに低下しているが、入院単価が上昇している。

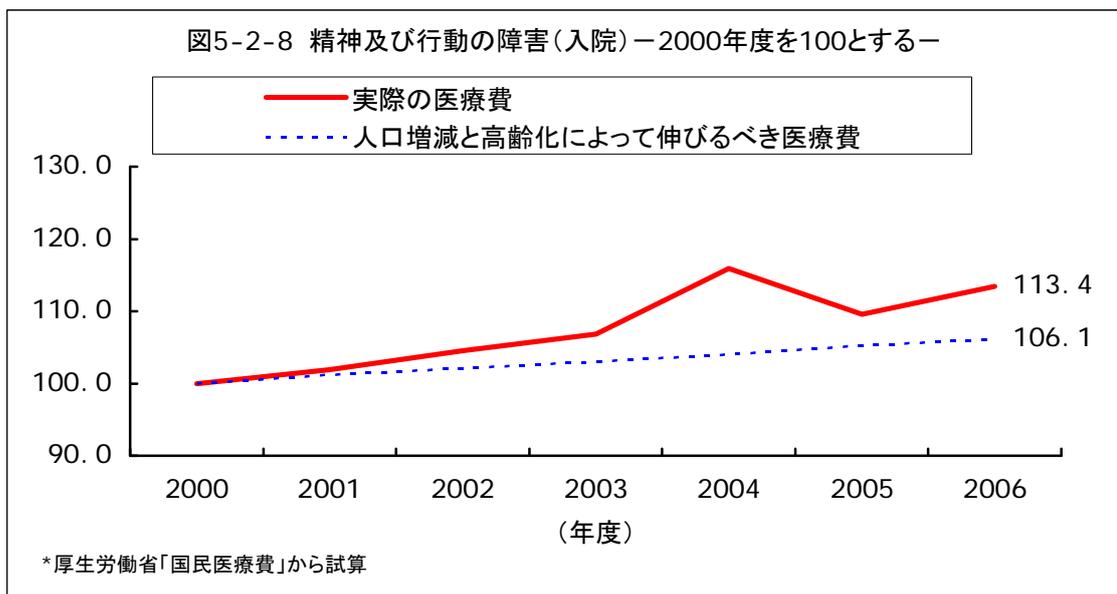
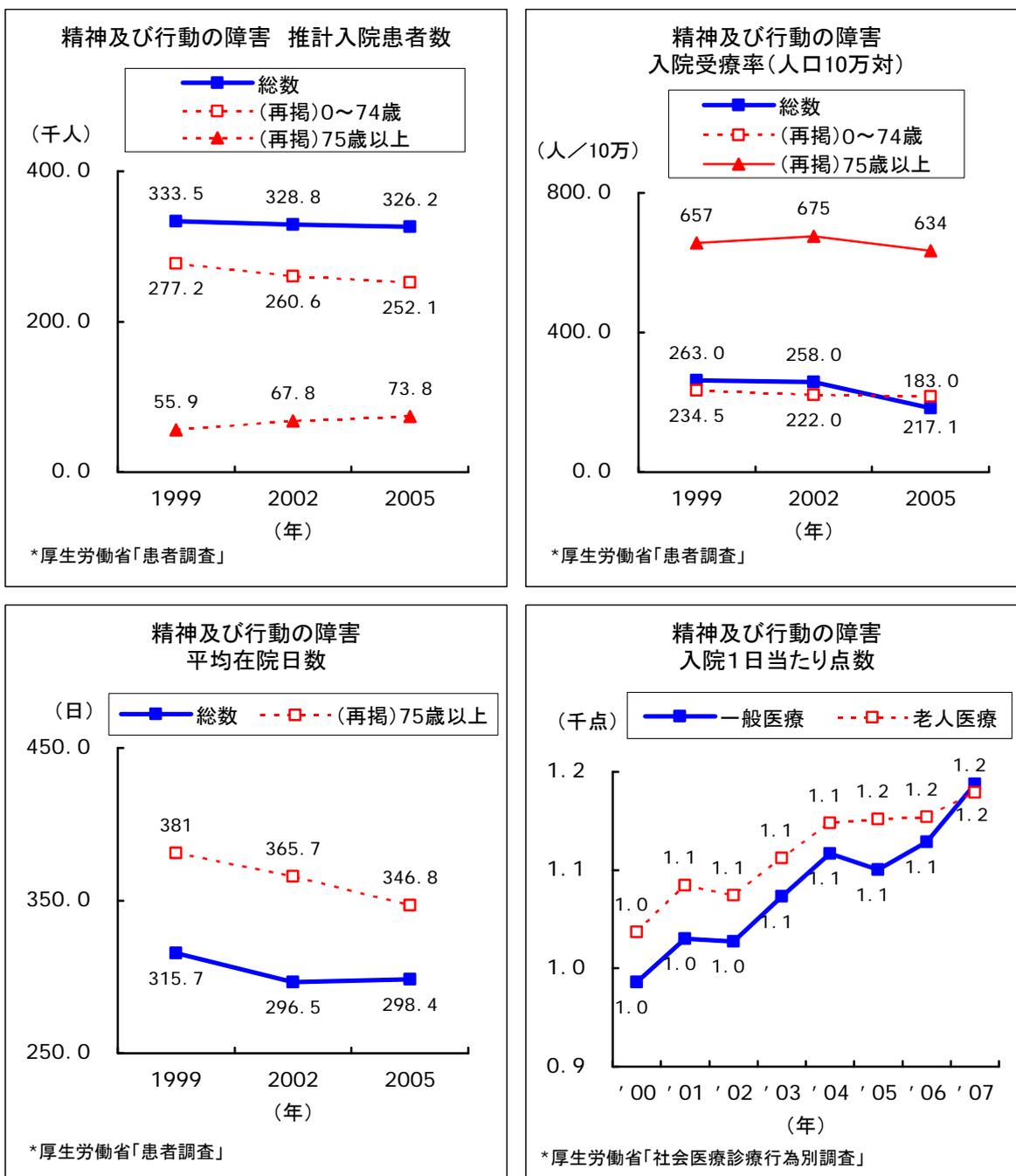


図5-2-9 精神及び行動の障害(入院) 患者数、受療率、平均在院日数、1日当たり点数



※「患者調査」は9月1か月の調査、「社会医療診療行為別調査」は6月審査分  
 「患者調査」には0~74歳の受療率は掲載されていないので、「0~74歳患者数÷0~74歳人口」で計算した。

### (3) 入院外の傷病別医療費

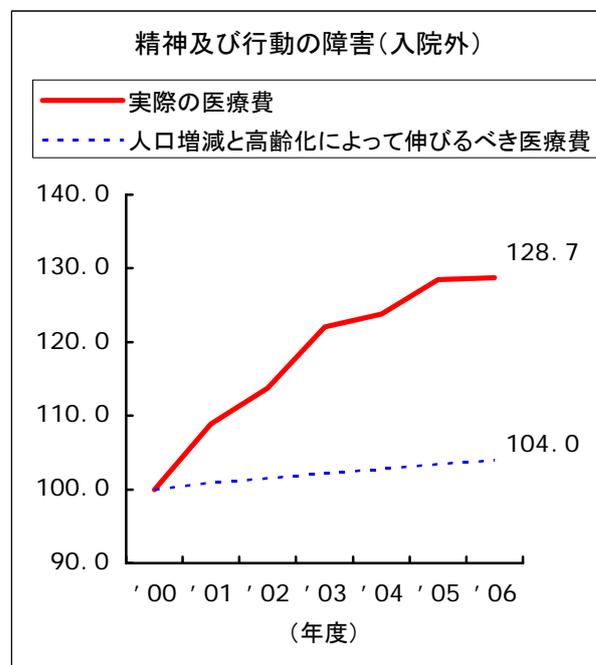
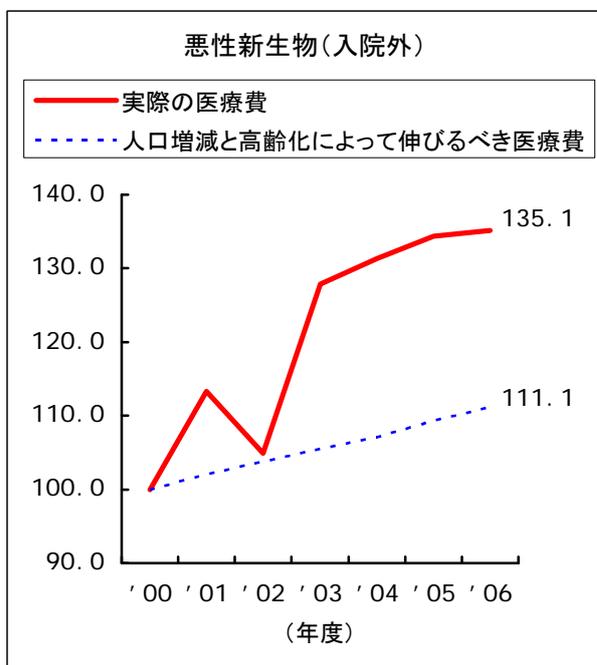
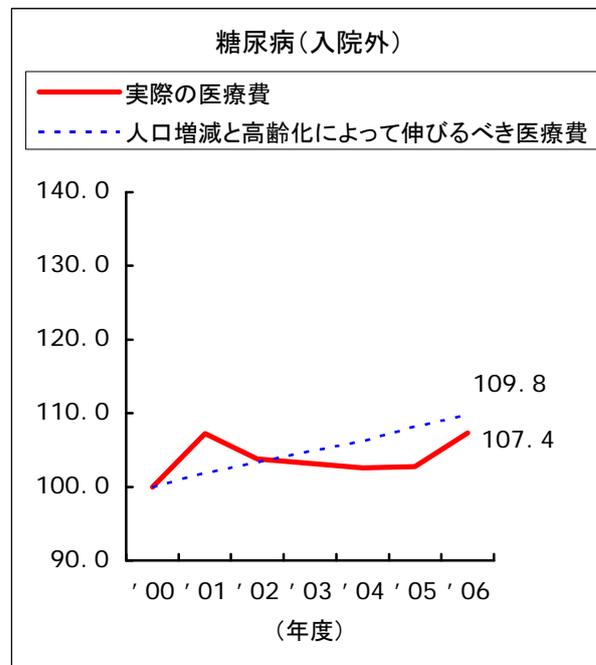
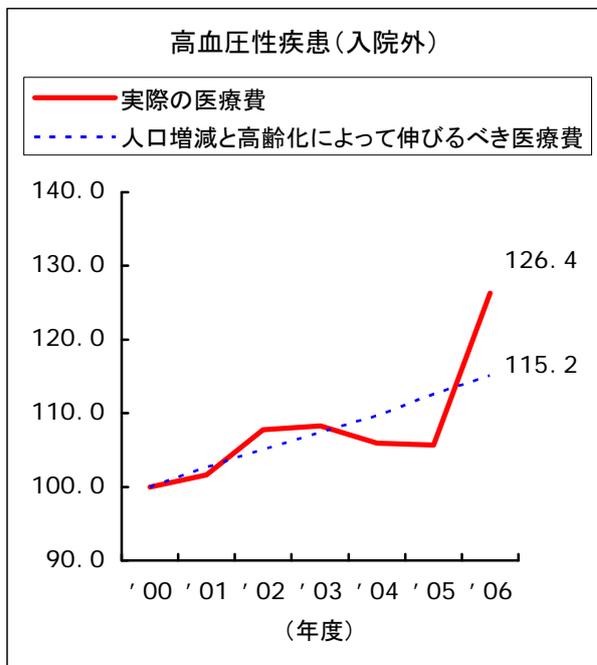
糖尿病を除いて、2006年度の実際の医療費が「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」を上回った。若年層で受療率が上昇していること、医療技術の高度化等により単価が上昇していることも考えられる。

なお受療率のデータとして用いた「患者調査」は、特定の1日の調査であり、年によるバラツキが大きいので、その点に注意しておく必要がある。

図5-3-1 傷病別 一般診療医療費(入院外)の推移—2000年度を100とする—

人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費:

年齢階級別医療費を一定(2000年度のまま)とした時、人口増減と人口の高齢化のみの  
変化から計算される医療費



\*厚生労働省「国民医療費」から試算

### 高血圧性疾患（入院外）

2006年度には実際の医療費が126.4になり、「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」115.2を上回った。ただし、この要因となったのは特に一般（若年層）の単価（1日当たり点数）、1件当たり日数（通院回数に相当）の増加であるが、2006年度だけのことであるので、今後の推移に注意したい。

高齢者の1件当たり日数は、2000年2.6日、2004年2.1日であり、0.5日短くなったが、その後はほぼ横ばいで推移している。

また高齢者では、2000年に比べて2007年の単価が8.5%低下している。ただしこれについても前年の2006年は2000年を上回る単価であったので、今後の動きに注意したい。

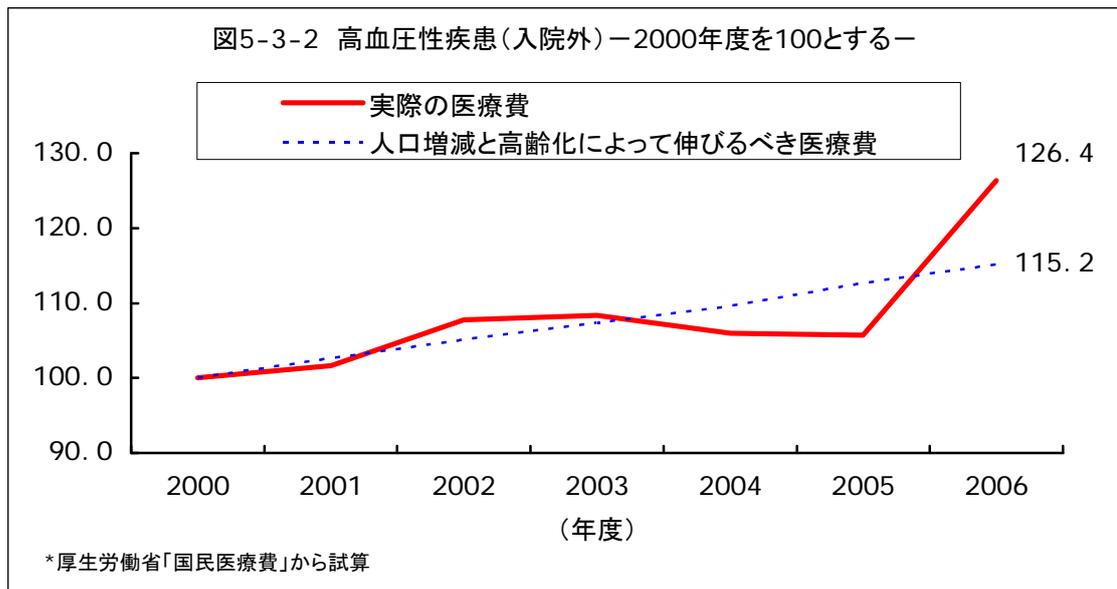
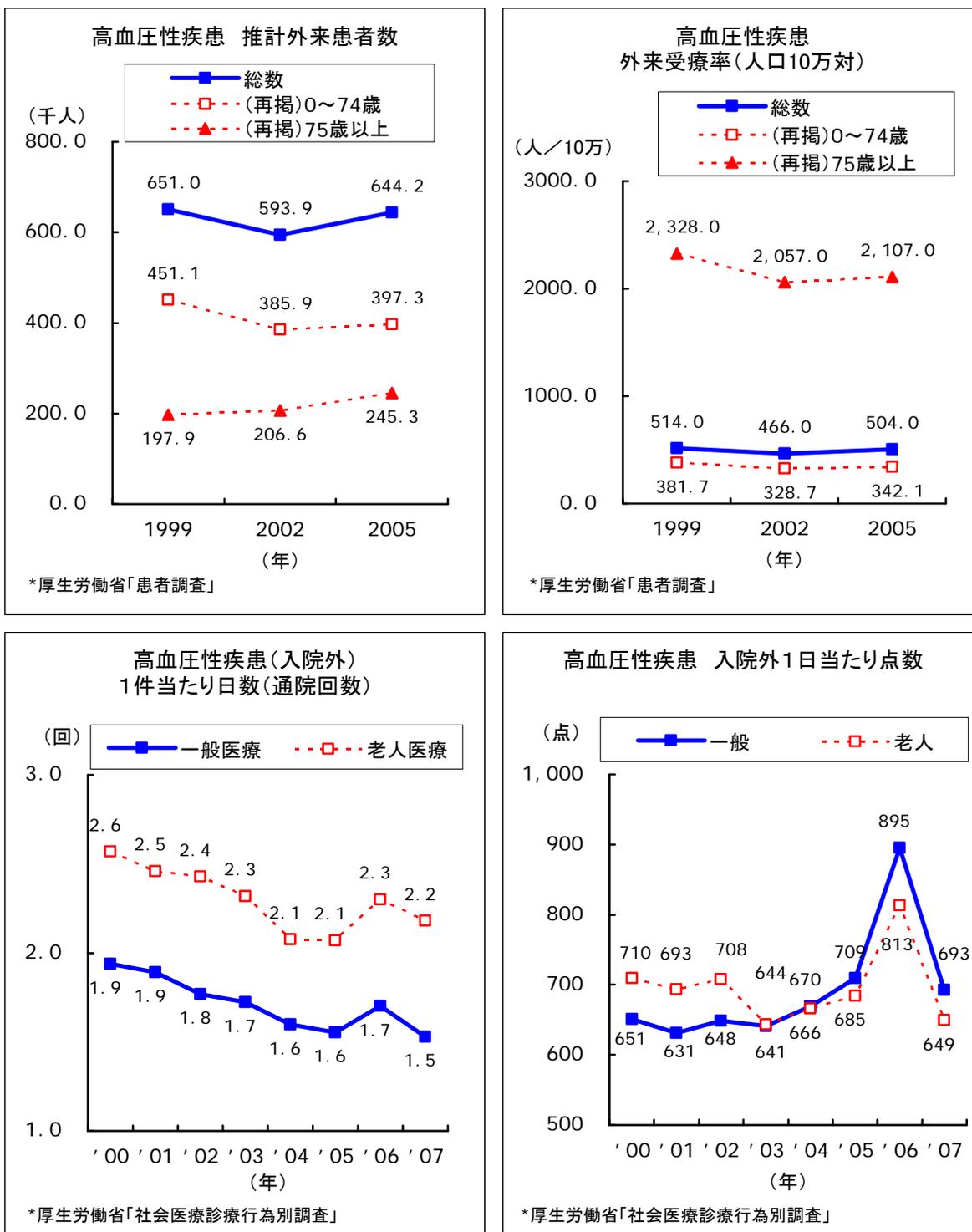


図5-3-3 高血圧性疾患(入院外) 患者数、受療率、通院回数、1日当たり点数



※「患者調査」は10月中の1日の調査、「社会医療診療行為別調査」は6月審査分  
 「患者調査」には0~74歳の受療率は掲載されていないので、「0~74歳患者数÷0~74歳人口」で計算した。

### 糖尿病（入院外）

実際の医療費と「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」は、ほぼ同じように推移してきた。受療率は一般（若年層）で若干の上昇傾向、75歳以上も2002年から2005年にかけて上昇した。

他の傷病（入院外）と異なり、一般の1件当たり日数（通院回数）が、ここ数年において増加傾向にあった。

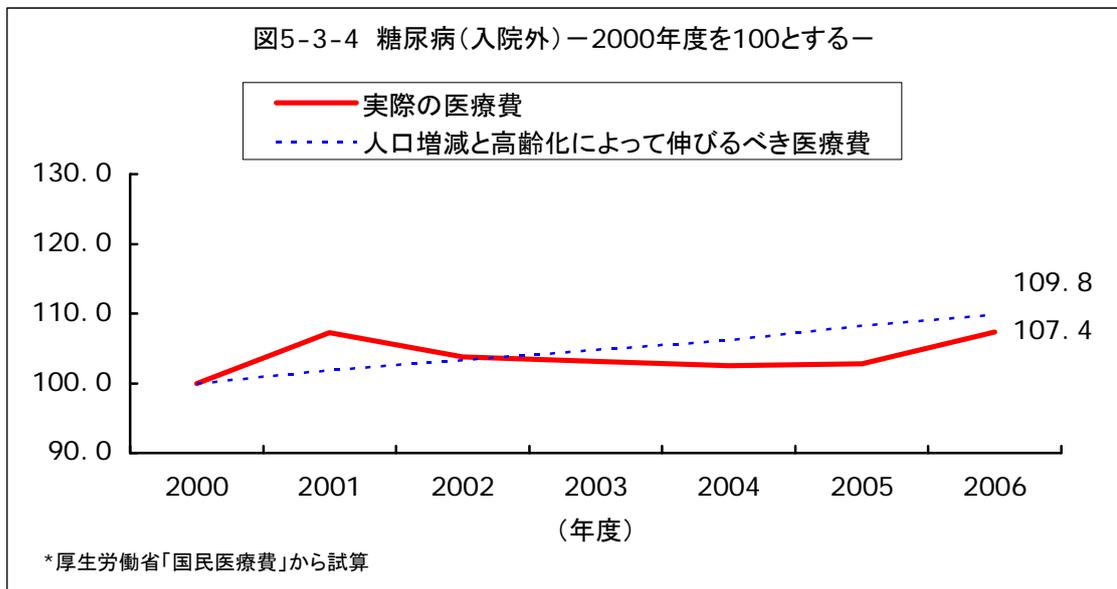
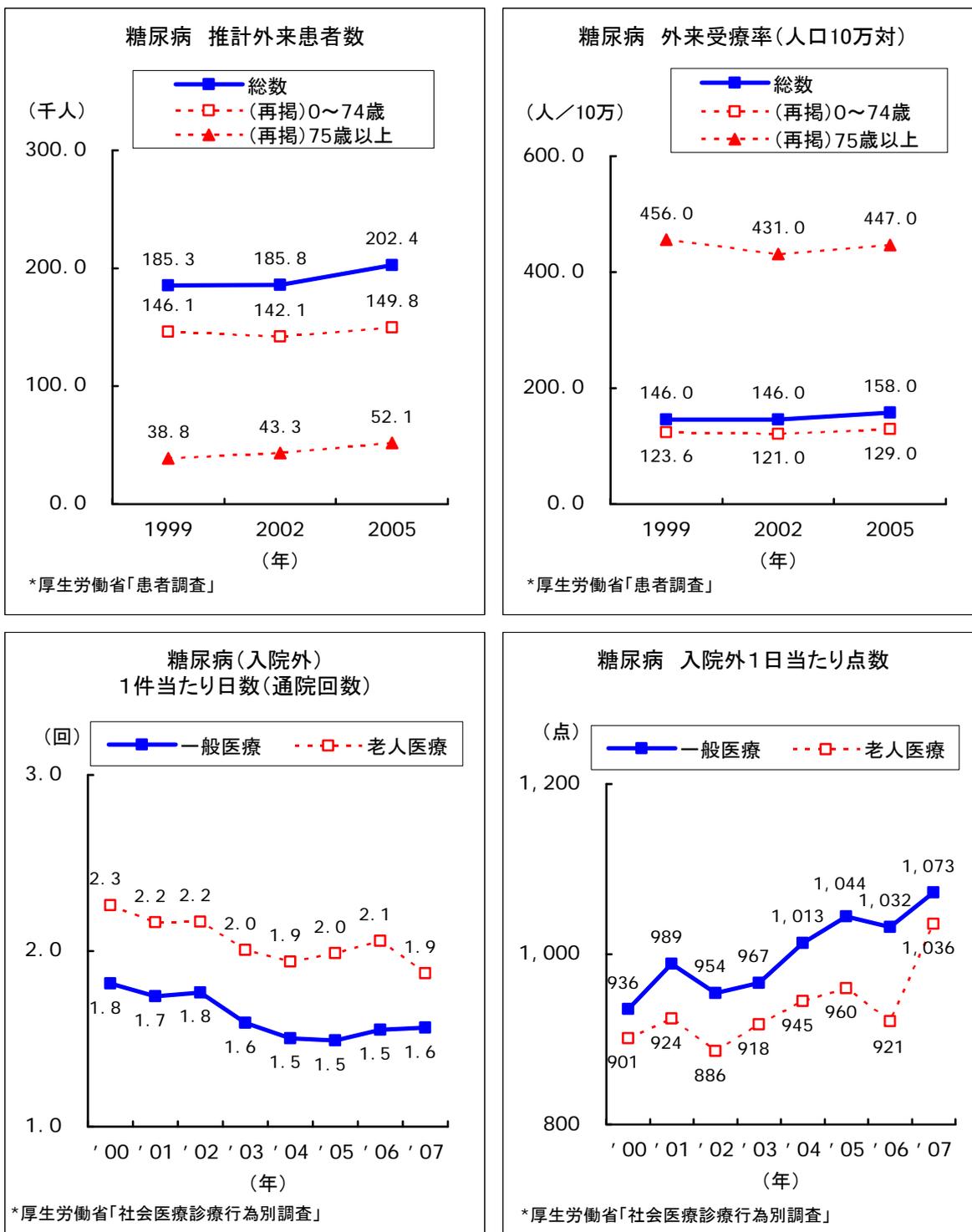


図5-3-5 糖尿病(入院外) 患者数、受療率、通院回数、1日当たり点数



※「患者調査」は10月中の1日の調査、「社会医療診療行為別調査」は6月審査分  
 「患者調査」には0~74歳の受療率は掲載されていないので、「0~74歳患者数÷0~74歳人口」で計算した。

### 悪性新生物（入院外）

2006年度には、実際の医療費が135.1であり、「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」111.1を上回った。

通院回数（1件当たり日数）は2000年以降減っているが、受療率は2002年から2005年にかけて上昇している。

単価（1日当たり点数）は、2000年に比べて、2007年は一般で1.5倍、高齢者（老人）で1.4倍と、入院外の他の傷病に見られない（高血圧性疾患の2006年を除く）高い伸びを示した。入院の単価では、虚血性心疾患の一般で高い伸びを示したが、悪性新生物の入院外では高齢者の単価も伸びた点が特徴的である。DPCによる平均在院日数短縮化の結果、外来化学療法など、医療の高度化の影響もあるのではないかと推察される。

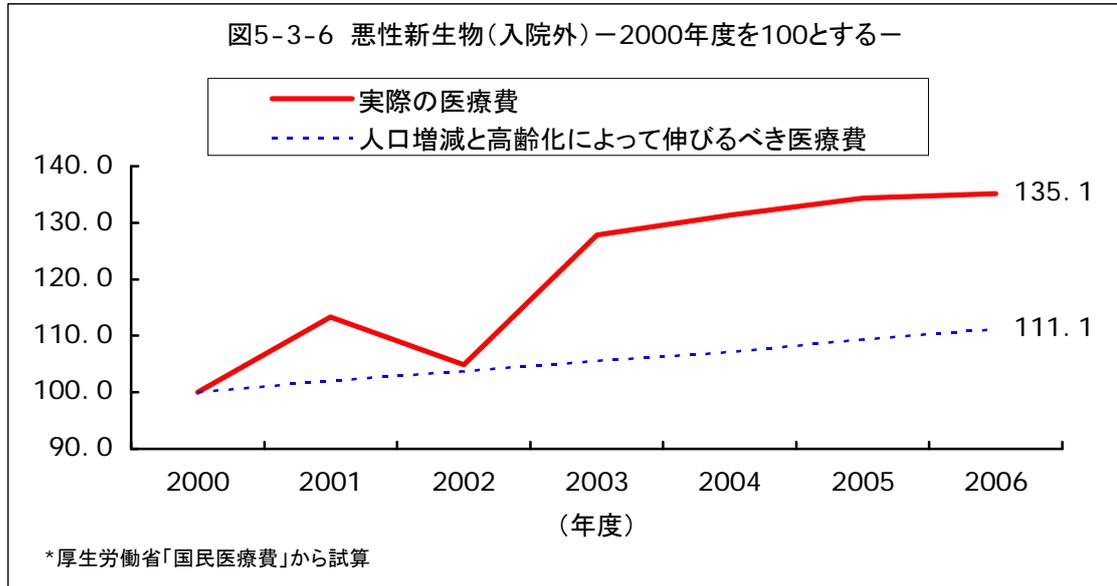
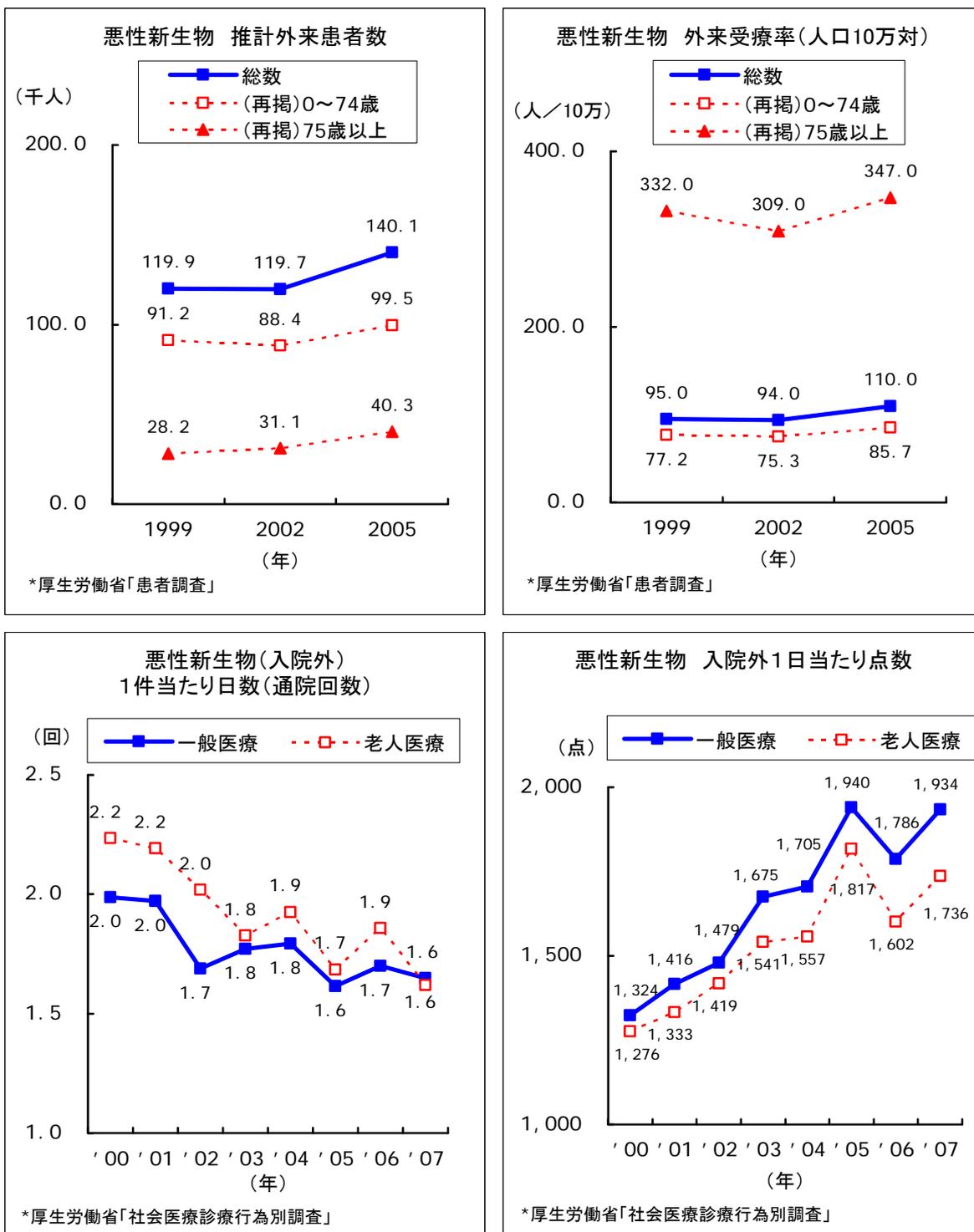


図5-3-7 悪性新生物(入院外) 患者数、受療率、通院回数、1日当たり点数



※「患者調査」は10月中の1日の調査、「社会医療診療行為別調査」は6月審査分  
 「患者調査」には0~74歳の受療率は掲載されていないので、「0~74歳患者数÷0~74歳人口」で計算した。

### 精神及び行動の障害（入院外）

2006 年度の実際の医療費は 128.7 であり、「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」104.0 を上回った。精神及び行動の障害は、年齢階級別国民 1 人当たり医療費の差が小さく、もともと高齢化の影響は受けにくい。

2002 年から 2005 年にかけてみると、受療率は 75 歳以上では微増に過ぎないが、0～74 歳では 1.13 倍に増加している。精神及び行動の障害においては、若年患者数の増大が、医療費増に寄与したと考えられる。

また他の傷病（入院外）と異なり、一般（若年層）の単価がどちらかという  
と低下傾向にあり、1 件当たり日数（通院回数）も短くなっている。この点から、比較的軽症の若年患者数が増加しているのではないかと推察される。

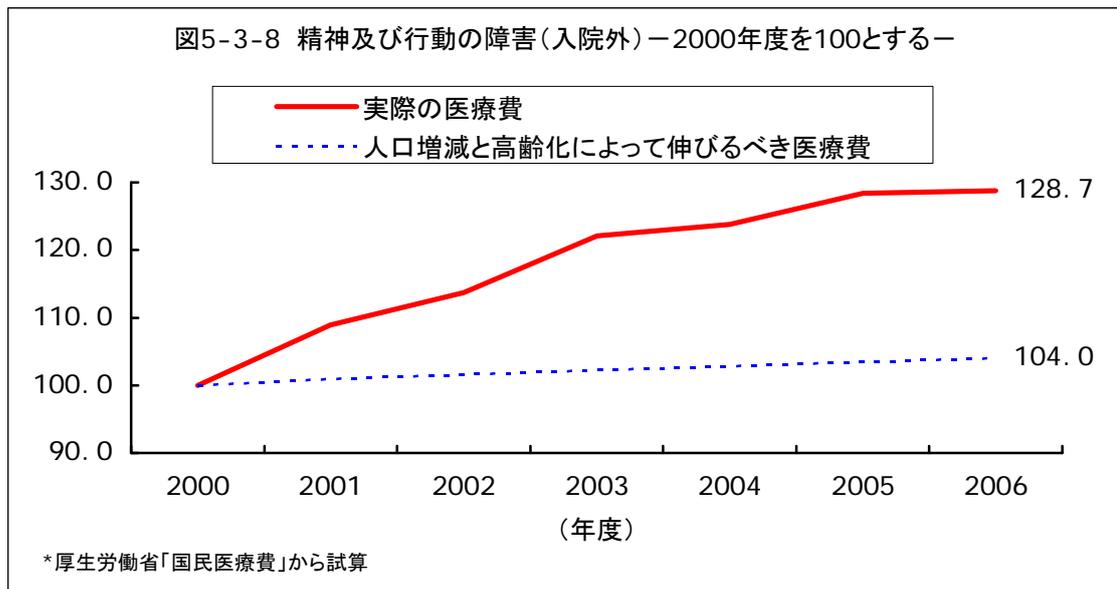
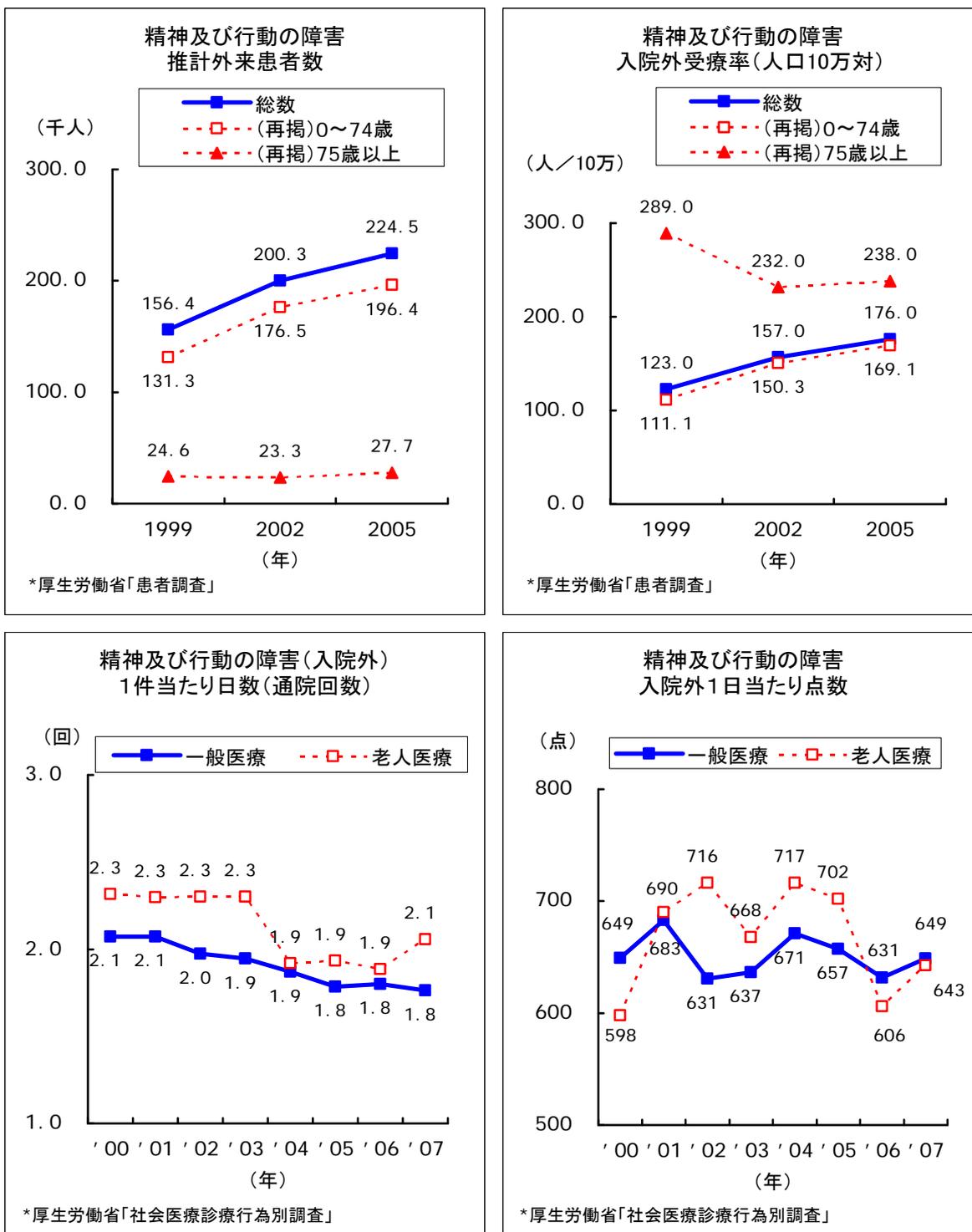


図5-3-9 精神及び行動の障害(入院外) 患者数、受療率、通院回数、1日当たり点数



※「患者調査」は10月中の1日の調査、「社会医療診療行為別調査」は6月審査分  
 「患者調査」には0~74歳の受療率は掲載されていないので、「0~74歳患者数÷0~74歳人口」で計算した。

## 6. まとめ

### **国民医療費の伸びについて、「医療の高度化」を強調するのは適切でない**

厚生労働省は、国民医療費の伸びの内訳を①診療報酬改定等、②人口増、③人口の高齢化、④その他、に分けて説明し、「④その他」は、「医療の高度化等の自然増」「医療の技術の進歩・高度化等」と言っている。しかし「④その他」には、上記①～③以外のすべての要素、たとえば疾病構造の変化、受療率の変化、その背景にある医療制度改革、医療の高度化などが含まれており、「医療の高度化」を強調するのは不適切である。また本来あるべき「高度化」も、診療報酬改定や医療制度改革によって打ち消されてきたのが実態である。

診療報酬改定がなかった年についてみると、国民医療費全体では、2001年度 3.18%、2003年度 1.90%、2005年度 3.17%の伸びである。この伸びに寄与したのは薬局調剤医療費であるが、これも「医療の高度化」というより、医薬分業政策により院外処方拡大が主要因である。一般診療医療費は、人口増、高齢化の影響を除くと、2001年度、2003年度は前年度比マイナスである。診療報酬改定以外に、長期にわたり医療費抑制政策がつづいていることの証左である。

### **高齢者が長期療養を要する傷病では、平均在院日数の短縮化により医療費が抑制されている**

脳血管疾患（入院）、虚血性心疾患（入院）は、若年層に比べて高齢者の1人当たり医療費が高く、高齢化により医療費増が見込まれたが、実際の医療費は「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」を下回った。いずれも高齢者の受療率が低下しており、虚血性心疾患では、平均在院日数の短縮も顕著であった（平均在院日数データが2005年までしかないため断定はできないが、脳血

管疾患にも平均在院日数短縮の影響があるのではないかとと思われる)。

高齢者の1人当たり医療費が高く長期療養を要する傷病では、平均在院日数の短縮化や療養病床の削減もあり、医療費が抑制されている実態がうかがえた。

### **悪性新生物(がん)は、平均在院日数が短くなっているものの、単価が上昇し、予測以上に医療費が伸びた**

悪性新生物では、入院において、もともと短い平均在院日数がさらに短くなると同時に、高齢者の外来患者が増加している。また悪性新生物は、入院単価(1日当たり点数)だけでなく、入院外でも単価が上昇していた。他の傷病に比べると、入院外で高齢者の単価が伸びた点が特徴的であった。DPC導入に伴い短期間で退院し、その結果、外来化学療法などの医療の高度化の影響もあるのではないかと推察される。

### **精神及び行動の障害は若年層への対策が重要である**

精神及び行動の障害では、特に入院外で若年層の受療率が増加し、医療費が上昇した。若年層への対策が特に重要な傷病のひとつであるといえる。

### **医療費の伸びは傷病別に濃淡があり、行き過ぎた抑制もあると推察される**

本稿では、「人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費」と実際の医療費との乖離を分析することによって、傷病別等の医療費抑制の濃淡を見た。その結果、特に高齢者の受療率が高い傷病において、強い医療費抑制がうかがえた。

国も、説明のつかない医療費の伸びについて「医療の高度化」と、大雑把にくくるのではなく、きめ細かい医療費のエビデンスも踏まえて検討し、行き過ぎた抑制については転換すべきである。

資料 人口増減と高齢化によって伸びるべき医療費の計算プロセス

1. 一般診療医療費(入院)－2000年度を100とする－

	年齢階級	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
① 人口 (千人)	総数	126,926	127,291	127,435	127,619	127,687	127,768	127,770
	0～4歳	5,915	5,901	5,875	5,801	5,736	5,599	5,504
	5～9	6,033	6,000	5,983	5,985	5,938	5,950	5,923
	10～14	6,558	6,382	6,244	6,119	6,060	6,036	6,007
	15～19	7,502	7,350	7,194	6,997	6,761	6,593	6,424
	20～24	8,438	8,201	8,012	7,859	7,725	7,381	7,313
	25～29	9,809	9,703	9,431	9,106	8,755	8,314	8,014
	30～34	8,794	9,328	9,492	9,701	9,819	9,795	9,643
	35～39	8,130	8,011	8,262	8,468	8,661	8,772	9,273
	40～44	7,814	7,756	7,797	7,859	7,909	8,113	7,982
	45～49	8,932	8,527	8,151	7,929	7,854	7,755	7,694
	50～54	10,461	11,018	10,608	10,013	9,300	8,828	8,419
	55～59	8,750	8,327	8,657	9,170	9,640	10,294	10,825
	60～64	7,750	7,918	8,102	8,304	8,652	8,577	8,143
65～69	7,118	7,277	7,374	7,405	7,344	7,460	7,624	
70～74	5,910	6,059	6,211	6,359	6,465	6,661	6,814	
75歳以上	9,013	9,531	10,044	10,548	11,067	11,639	12,166	
② 1人当たり医療費 (実際の値) (千円)	総数	89.0	90.5	90.7	91.9	92.8	94.8	95.9
	0～4歳	54.1	53.0	54.1	51.8	48.7	61.7	59.7
	5～9	15.5	13.8	14.5	15.7	12.0	13.6	12.0
	10～14	12.5	11.0	13.0	11.6	11.1	10.8	11.0
	15～19	17.2	16.4	15.4	15.5	15.1	14.7	13.5
	20～24	22.7	22.6	26.3	22.5	20.8	18.4	19.0
	25～29	30.6	29.9	33.7	28.2	27.8	28.3	26.2
	30～34	35.3	31.3	34.7	31.1	30.8	28.6	29.4
	35～39	35.0	33.7	37.1	32.3	32.9	31.5	29.0
	40～44	39.6	40.2	41.8	38.0	37.7	36.7	36.2
	45～49	55.6	55.9	52.9	50.7	49.1	47.2	46.3
	50～54	70.6	71.5	74.6	73.6	69.0	67.4	67.8
	55～59	99.6	99.4	98.8	92.8	88.3	91.2	94.2
	60～64	123.1	122.9	116.0	121.2	120.8	122.8	127.7
65～69	172.0	176.2	162.0	172.1	162.9	155.9	166.3	
70～74	236.0	234.6	229.8	231.9	233.4	232.5	224.9	
75歳以上	399.7	400.5	380.9	388.3	398.3	398.6	388.3	
③ 医療費総額 =①×② (億円)  人口、1人当たり医 療費に四捨五入差 があるため、「国民医 療費」に掲載されて いる金額とは一致し ない箇所がある。	総数	113,027	115,213	115,527	117,221	118,461	121,180	122,538
	0～4歳	3,200	3,128	3,178	3,005	2,793	3,455	3,286
	5～9	935	828	868	940	713	809	711
	10～14	820	702	812	710	673	652	661
	15～19	1,290	1,205	1,108	1,085	1,021	969	867
	20～24	1,915	1,853	2,107	1,768	1,607	1,358	1,389
	25～29	3,002	2,901	3,178	2,568	2,434	2,353	2,100
	30～34	3,104	2,920	3,294	3,017	3,024	2,801	2,835
	35～39	2,846	2,700	3,065	2,735	2,849	2,763	2,689
	40～44	3,094	3,118	3,259	2,986	2,982	2,977	2,889
	45～49	4,966	4,767	4,312	4,020	3,856	3,660	3,562
	50～54	7,385	7,878	7,914	7,370	6,417	5,950	5,708
	55～59	8,715	8,277	8,553	8,510	8,512	9,388	10,197
	60～64	9,540	9,731	9,398	10,064	10,452	10,533	10,399
65～69	12,243	12,822	11,946	12,744	11,963	11,630	12,679	
70～74	13,948	14,214	14,273	14,747	15,089	15,487	15,325	
75歳以上	36,023	38,169	38,262	40,953	44,076	46,394	47,241	

	年齢階級	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
④ 1人当たり医療費 が変化しない 場合の医療費 (億円)  =2000年度の1人当 たり医療費×当年度 の人口	総数	113,027	115,653	118,260	120,840	123,312	126,225	128,521
	0～4歳	3,200	3,192	3,178	3,138	3,103	3,029	2,978
	5～9	935	930	927	928	920	922	918
	10～14	820	798	781	765	758	755	751
	15～19	1,290	1,264	1,237	1,203	1,163	1,134	1,105
	20～24	1,915	1,862	1,819	1,784	1,754	1,675	1,660
	25～29	3,002	2,969	2,886	2,786	2,679	2,544	2,452
	30～34	3,104	3,293	3,351	3,424	3,466	3,458	3,404
	35～39	2,846	2,804	2,892	2,964	3,031	3,070	3,246
	40～44	3,094	3,071	3,088	3,112	3,132	3,213	3,161
	45～49	4,966	4,741	4,532	4,409	4,367	4,312	4,278
	50～54	7,385	7,779	7,489	7,069	6,566	6,233	5,944
	55～59	8,715	8,294	8,622	9,133	9,601	10,253	10,782
	60～64	9,540	9,747	9,974	10,222	10,651	10,558	10,024
	65～69	12,243	12,516	12,683	12,737	12,632	12,831	13,113
	70～74	13,948	14,299	14,658	15,007	15,257	15,720	16,081
75～79	36,023	38,093	40,144	42,158	44,232	46,519	48,625	

2000年度を100としたとき

人口増減と高齢化によって 伸びるべき医療費(④の総数)	100.0	102.3	104.6	106.9	109.1	111.7	113.7
実際の医療費(③の総数)	100.0	101.9	102.2	103.7	104.8	107.2	108.4

\*厚生労働省「国民医療費」から計算。四捨五入差があるため、内訳と合計が一致しない箇所がある。

2. 一般診療医療費(入院外)－2000年度を100とする－

	年齢階級	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
① 人口 (千人)	総数	126,926	127,291	127,435	127,619	127,687	127,768	127,770
	0～4歳	5,915	5,901	5,875	5,801	5,736	5,599	5,504
	5～9	6,033	6,000	5,983	5,985	5,938	5,950	5,923
	10～14	6,558	6,382	6,244	6,119	6,060	6,036	6,007
	15～19	7,502	7,350	7,194	6,997	6,761	6,593	6,424
	20～24	8,438	8,201	8,012	7,859	7,725	7,381	7,313
	25～29	9,809	9,703	9,431	9,106	8,755	8,314	8,014
	30～34	8,794	9,328	9,492	9,701	9,819	9,795	9,643
	35～39	8,130	8,011	8,262	8,468	8,661	8,772	9,273
	40～44	7,814	7,756	7,797	7,859	7,909	8,113	7,982
	45～49	8,932	8,527	8,151	7,929	7,854	7,755	7,694
	50～54	10,461	11,018	10,608	10,013	9,300	8,828	8,419
	55～59	8,750	8,327	8,657	9,170	9,640	10,294	10,825
	60～64	7,750	7,918	8,102	8,304	8,652	8,577	8,143
65～69	7,118	7,277	7,374	7,405	7,344	7,460	7,624	
70～74	5,910	6,059	6,211	6,359	6,465	6,661	6,814	
75歳以上	9,013	9,531	10,044	10,548	11,067	11,639	12,166	
② 1人当たり医療費 (実際の値) (千円)	総数	98.4	100.0	96.2	96.9	98.0	100.6	100.1
	0～4歳	88.5	92.6	91.5	87.9	91.6	101.5	104.2
	5～9	51.8	50.8	50.2	50.6	49.7	55.8	48.3
	10～14	42.4	37.2	37.9	40.6	38.5	42.8	38.8
	15～19	31.4	28.9	30.2	31.1	29.8	32.5	29.9
	20～24	30.9	31.8	31.9	31.6	30.9	36.0	31.8
	25～29	37.7	40.0	38.9	37.2	38.5	39.3	40.7
	30～34	44.2	43.9	42.5	43.7	41.7	46.0	43.0
	35～39	48.9	48.5	45.7	46.4	47.8	50.5	43.5
	40～44	54.2	53.3	51.1	54.5	56.6	58.1	50.9
	45～49	65.9	66.2	63.3	68.1	69.2	63.9	66.0
	50～54	86.0	87.4	86.4	86.3	87.4	85.3	84.5
	55～59	111.9	118.3	104.4	105.3	109.5	105.8	108.7
	60～64	142.4	142.5	138.1	139.0	137.0	139.6	149.5
65～69	197.1	193.7	188.3	184.6	178.1	175.5	177.9	
70～74	273.4	259.9	239.2	245.4	247.2	245.3	232.9	
75歳以上	301.0	308.6	282.7	266.3	263.0	261.3	260.5	
③ 医療費総額 =①×② (億円)  人口、1人当たり医療費に四捨五入差があるため、「国民医療費」に掲載されている金額とは一致しない箇所がある。	総数	124,929	127,276	122,623	123,715	125,157	128,499	127,936
	0～4歳	5,235	5,464	5,376	5,099	5,254	5,683	5,735
	5～9	3,125	3,048	3,003	3,028	2,951	3,320	2,861
	10～14	2,781	2,374	2,366	2,484	2,333	2,583	2,331
	15～19	2,356	2,124	2,173	2,176	2,015	2,143	1,921
	20～24	2,607	2,608	2,556	2,483	2,387	2,657	2,326
	25～29	3,698	3,881	3,669	3,387	3,371	3,267	3,262
	30～34	3,887	4,095	4,034	4,239	4,095	4,506	4,146
	35～39	3,976	3,885	3,776	3,929	4,140	4,430	4,034
	40～44	4,235	4,134	3,984	4,283	4,476	4,714	4,063
	45～49	5,886	5,645	5,160	5,400	5,435	4,955	5,078
	50～54	8,996	9,630	9,165	8,641	8,128	7,530	7,114
	55～59	9,791	9,851	9,038	9,656	10,556	10,891	11,767
	60～64	11,036	11,283	11,189	11,543	11,853	11,973	12,174
65～69	14,030	14,096	13,885	13,670	13,080	13,092	13,563	
70～74	16,158	15,747	14,857	15,605	15,981	16,339	15,870	
75歳以上	27,132	29,411	28,393	28,091	29,102	30,414	31,692	

	年齢階級	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
④ 1人当たり医療費 が変化しない 場合の医療費 (億円)  =2000年度の1人当 たり医療費×当年度 の人口	総数	124,929	127,068	129,167	131,231	133,141	135,485	137,207
	0～4歳	5,235	5,222	5,199	5,134	5,076	4,955	4,871
	5～9	3,125	3,108	3,099	3,100	3,076	3,082	3,068
	10～14	2,781	2,706	2,647	2,594	2,569	2,559	2,547
	15～19	2,356	2,308	2,259	2,197	2,123	2,070	2,017
	20～24	2,607	2,534	2,476	2,428	2,387	2,281	2,260
	25～29	3,698	3,658	3,555	3,433	3,301	3,134	3,021
	30～34	3,887	4,123	4,195	4,288	4,340	4,329	4,262
	35～39	3,976	3,917	4,040	4,141	4,235	4,290	4,534
	40～44	4,235	4,204	4,226	4,260	4,287	4,397	4,326
	45～49	5,886	5,619	5,372	5,225	5,176	5,111	5,070
	50～54	8,996	9,475	9,123	8,611	7,998	7,592	7,240
	55～59	9,791	9,318	9,687	10,261	10,787	11,519	12,113
	60～64	11,036	11,275	11,537	11,825	12,320	12,214	11,596
	65～69	14,030	14,343	14,534	14,595	14,475	14,704	15,027
	70～74	16,158	16,565	16,981	17,386	17,675	18,211	18,629
75～79	27,132	28,691	30,236	31,753	33,315	35,037	36,624	

2000年度を100としたとき

人口増減と高齢化によって 伸びるべき医療費(④の総数)	100.0	101.7	103.4	105.0	106.6	108.5	109.8
実際の医療費(③の総数)	100.0	101.9	98.2	99.0	100.2	102.9	102.4

\*厚生労働省「国民医療費」から計算。四捨五入差があるため、内訳と合計が一致しない箇所がある。

3. 歯科診療医療費－2000年度を100とする－

	年齢階級	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
① 人口 (千人)	総数	126,926	127,291	127,435	127,619	127,687	127,768	127,770
	0～4歳	5,915	5,901	5,875	5,801	5,736	5,599	5,504
	5～9	6,033	6,000	5,983	5,985	5,938	5,950	5,923
	10～14	6,558	6,382	6,244	6,119	6,060	6,036	6,007
	15～19	7,502	7,350	7,194	6,997	6,761	6,593	6,424
	20～24	8,438	8,201	8,012	7,859	7,725	7,381	7,313
	25～29	9,809	9,703	9,431	9,106	8,755	8,314	8,014
	30～34	8,794	9,328	9,492	9,701	9,819	9,795	9,643
	35～39	8,130	8,011	8,262	8,468	8,661	8,772	9,273
	40～44	7,814	7,756	7,797	7,859	7,909	8,113	7,982
	45～49	8,932	8,527	8,151	7,929	7,854	7,755	7,694
	50～54	10,461	11,018	10,608	10,013	9,300	8,828	8,419
	55～59	8,750	8,327	8,657	9,170	9,640	10,294	10,825
	60～64	7,750	7,918	8,102	8,304	8,652	8,577	8,143
65～69	7,118	7,277	7,374	7,405	7,344	7,460	7,624	
70～74	5,910	6,059	6,211	6,359	6,465	6,661	6,814	
75歳以上	9,013	9,531	10,044	10,548	11,067	11,639	12,166	
② 1人当たり医療費 (実際の値) (千円)	総数	20.1	20.5	20.3	19.9	19.9	20.2	19.6
	0～4歳	5.9	5.9	6.1	5.6	6.3	7.2	6.9
	5～9	18.0	17.1	17.5	16.3	16.2	17.2	15.9
	10～14	9.5	9.1	10.3	10.0	8.9	9.1	8.5
	15～19	8.2	8.7	9.5	8.6	8.9	8.5	8.1
	20～24	12.7	12.4	14.4	14.4	12.5	11.8	10.7
	25～29	16.3	15.1	17.3	15.7	15.2	15.8	15.6
	30～34	16.7	16.3	16.7	16.8	17.1	17.0	15.2
	35～39	16.7	18.2	18.7	15.9	18.5	18.7	15.7
	40～44	19.0	21.5	20.5	18.8	17.1	17.1	16.1
	45～49	21.8	23.5	20.3	21.3	19.2	20.6	18.0
	50～54	24.6	25.0	25.8	24.4	24.5	22.8	22.8
	55～59	30.0	27.4	25.6	25.9	24.9	24.2	25.2
	60～64	29.9	30.4	28.3	30.0	28.6	30.2	31.6
65～69	31.7	33.3	30.9	31.5	31.9	31.8	31.5	
70～74	33.3	32.3	29.8	31.0	34.0	36.1	35.0	
75歳以上	24.7	26.1	26.1	24.2	25.2	24.8	25.0	
③ 医療費総額 =①×② (億円)  人口、1人当たり医 療費に四捨五入差 があるため、「国民医 療費」に掲載されて いる金額とは一致し ない箇所がある。	総数	25,569	26,040	25,896	25,379	25,383	25,772	25,025
	0～4歳	349	348	358	325	361	403	380
	5～9	1,086	1,026	1,047	976	962	1,023	942
	10～14	623	581	643	612	539	549	511
	15～19	615	639	683	602	602	560	520
	20～24	1,072	1,017	1,154	1,132	966	871	782
	25～29	1,599	1,465	1,632	1,430	1,331	1,314	1,250
	30～34	1,469	1,520	1,585	1,630	1,679	1,665	1,466
	35～39	1,358	1,458	1,545	1,346	1,602	1,640	1,456
	40～44	1,485	1,668	1,598	1,477	1,352	1,387	1,285
	45～49	1,947	2,004	1,655	1,689	1,508	1,598	1,385
	50～54	2,573	2,755	2,737	2,443	2,279	2,013	1,920
	55～59	2,625	2,282	2,216	2,375	2,400	2,491	2,728
	60～64	2,317	2,407	2,293	2,491	2,474	2,590	2,573
65～69	2,256	2,423	2,279	2,333	2,343	2,372	2,402	
70～74	1,968	1,957	1,851	1,971	2,198	2,405	2,385	
75歳以上	2,227	2,490	2,620	2,548	2,786	2,890	3,042	

	年齢階級	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
④ 1人当たり医療費 が変化しない 場合の医療費 (億円)  =2000年度の1人当 たり医療費×当年度 の人口	総数	25,569	25,744	25,901	26,081	26,229	26,424	26,521
	0～4歳	349	348	347	342	338	330	325
	5～9	1,086	1,080	1,077	1,077	1,069	1,071	1,066
	10～14	623	606	593	581	576	573	571
	15～19	615	603	590	574	554	541	527
	20～24	1,072	1,042	1,018	998	981	937	929
	25～29	1,599	1,582	1,537	1,484	1,427	1,355	1,306
	30～34	1,469	1,558	1,585	1,620	1,640	1,636	1,610
	35～39	1,358	1,338	1,380	1,414	1,446	1,465	1,549
	40～44	1,485	1,474	1,481	1,493	1,503	1,541	1,517
	45～49	1,947	1,859	1,777	1,729	1,712	1,691	1,677
	50～54	2,573	2,710	2,610	2,463	2,288	2,172	2,071
	55～59	2,625	2,498	2,597	2,751	2,892	3,088	3,248
	60～64	2,317	2,367	2,422	2,483	2,587	2,565	2,435
	65～69	2,256	2,307	2,338	2,347	2,328	2,365	2,417
	70～74	1,968	2,018	2,068	2,118	2,153	2,218	2,269
75～79	2,227	2,355	2,482	2,606	2,735	2,876	3,006	

2000年度を100としたとき

人口増減と高齢化によって 伸びるべき医療費(④の総数)	100.0	100.7	101.3	102.0	102.6	103.3	103.7
実際の医療費(③の総数)	100.0	101.8	101.3	99.3	99.3	100.8	97.9

\*厚生労働省「国民医療費」から計算。四捨五入差があるため、内訳と合計が一致しない箇所がある。

4. 薬局調剤医療費－2000年度を100とする－

	年齢階級	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
① 人口 (千人)	総数	126,926	127,291	127,435	127,619	127,687	127,768	127,770
	0～4歳	5,915	5,901	5,875	5,801	5,736	5,599	5,504
	5～9	6,033	6,000	5,983	5,985	5,938	5,950	5,923
	10～14	6,558	6,382	6,244	6,119	6,060	6,036	6,007
	15～19	7,502	7,350	7,194	6,997	6,761	6,593	6,424
	20～24	8,438	8,201	8,012	7,859	7,725	7,381	7,313
	25～29	9,809	9,703	9,431	9,106	8,755	8,314	8,014
	30～34	8,794	9,328	9,492	9,701	9,819	9,795	9,643
	35～39	8,130	8,011	8,262	8,468	8,661	8,772	9,273
	40～44	7,814	7,756	7,797	7,859	7,909	8,113	7,982
	45～49	8,932	8,527	8,151	7,929	7,854	7,755	7,694
	50～54	10,461	11,018	10,608	10,013	9,300	8,828	8,419
	55～59	8,750	8,327	8,657	9,170	9,640	10,294	10,825
	60～64	7,750	7,918	8,102	8,304	8,652	8,577	8,143
65～69	7,118	7,277	7,374	7,405	7,344	7,460	7,624	
70～74	5,910	6,059	6,211	6,359	6,465	6,661	6,814	
75歳以上	9,013	9,531	10,044	10,548	11,067	11,639	12,166	
② 1人当たり医療費 (実際の値) (千円)	総数	21.7	25.2	27.7	30.5	32.8	35.7	36.8
	0～4歳	19.3	26.7	22.7	23.8	29.8	35.7	40.7
	5～9	13.6	14.4	14.5	16.3	18.9	22.2	24.7
	10～14	6.9	7.1	7.3	9.1	10.6	13.4	15.1
	15～19	6.3	5.3	6.5	6.8	7.5	10.4	10.5
	20～24	5.3	6.2	6.8	7.1	9.0	11.4	10.7
	25～29	7.1	7.8	9.1	9.4	11.0	13.4	14.3
	30～34	7.7	8.5	10.1	11.3	12.3	15.3	17.2
	35～39	9.4	10.9	11.6	14.2	15.4	18.0	18.7
	40～44	10.5	10.8	14.4	13.9	15.0	21.6	21.9
	45～49	12.5	14.8	15.9	17.5	19.9	25.4	25.9
	50～54	17.3	18.3	23.2	24.4	26.1	31.1	33.6
	55～59	25.5	28.7	29.4	32.6	34.9	38.0	39.4
	60～64	32.0	35.8	39.9	48.1	49.0	51.3	54.8
65～69	45.3	58.1	61.0	65.2	72.1	68.0	71.5	
70～74	66.5	73.5	77.6	82.6	87.2	73.5	72.1	
75歳以上	72.2	82.8	88.3	93.1	90.8	94.7	88.7	
③ 医療費総額 =①×② (億円)  人口、1人当たり医療費に四捨五入差があるため、「国民医療費」に掲載されている金額とは一致しない箇所がある。	総数	27,592	32,129	35,293	38,906	41,938	45,615	47,058
	0～4歳	1,142	1,576	1,334	1,381	1,709	1,999	2,240
	5～9	820	864	868	976	1,122	1,321	1,463
	10～14	453	453	456	557	642	809	907
	15～19	473	390	468	476	507	686	675
	20～24	447	508	545	558	695	841	782
	25～29	696	757	858	856	963	1,114	1,146
	30～34	677	793	959	1,096	1,208	1,499	1,659
	35～39	764	873	958	1,202	1,334	1,579	1,734
	40～44	820	838	1,123	1,092	1,186	1,752	1,748
	45～49	1,117	1,262	1,296	1,388	1,563	1,970	1,993
	50～54	1,810	2,016	2,461	2,443	2,427	2,746	2,829
	55～59	2,231	2,390	2,545	2,989	3,364	3,912	4,265
	60～64	2,480	2,835	3,233	3,994	4,239	4,400	4,462
65～69	3,224	4,228	4,498	4,828	5,295	5,073	5,451	
70～74	3,930	4,453	4,820	5,253	5,637	4,896	4,913	
75歳以上	6,507	7,894	8,873	9,817	10,044	11,020	10,791	

	年齢階級	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
④ 1人当たり医療費 が変化しない 場合の医療費 (億円)  =2000年度の1人当 たり医療費×当年度 の人口	総数	27,592	28,103	28,628	29,145	29,624	30,212	30,649
	0～4歳	1,142	1,139	1,134	1,120	1,107	1,081	1,062
	5～9	820	816	814	814	808	809	806
	10～14	453	440	431	422	418	416	414
	15～19	473	463	453	441	426	415	405
	20～24	447	435	425	417	409	391	388
	25～29	696	689	670	647	622	590	569
	30～34	677	718	731	747	756	754	743
	35～39	764	753	777	796	814	825	872
	40～44	820	814	819	825	830	852	838
	45～49	1,117	1,066	1,019	991	982	969	962
	50～54	1,810	1,906	1,835	1,732	1,609	1,527	1,456
	55～59	2,231	2,123	2,208	2,338	2,458	2,625	2,760
	60～64	2,480	2,534	2,593	2,657	2,769	2,745	2,606
	65～69	3,224	3,296	3,340	3,354	3,327	3,379	3,454
	70～74	3,930	4,029	4,130	4,229	4,299	4,430	4,531
	75～79	6,507	6,881	7,251	7,615	7,990	8,403	8,783

2000年度を100としたとき

人口増減と高齢化によって 伸びるべき医療費(④の総数)	100.0	101.9	103.8	105.6	107.4	109.5	111.1
実際の医療費(③の総数)	100.0	116.4	127.9	141.0	152.0	165.3	170.6

\*厚生労働省「国民医療費」から計算。四捨五入差があるため、内訳と合計が一致しない箇所がある。

5. 悪性新生物(入院)－2000年度を100とする－

	年齢階級	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
① 人口 (千人)	総数	126,926	127,291	127,435	127,619	127,687	127,768	127,770
	0-14	18,506	18,283	18,102	17,905	17,734	17,585	17,434
	15-44	50,487	50,349	50,188	49,990	49,630	48,968	48,649
	45-64	35,893	35,790	35,518	35,416	35,446	35,454	35,081
	65-69	7,118	7,277	7,374	7,405	7,344	7,460	7,624
	70-74	5,910	6,059	6,211	6,359	6,465	6,661	6,814
	75歳以上	9,013	9,531	10,044	10,548	11,067	11,639	12,166
② 1人当たり医療費 (実際の値) (千円)	総数	12.0	12.3	12.8	13.9	12.5	14.3	13.5
	0-14	0.9	0.9	1.0	1.1	0.6	1.1	1.2
	15-44	1.9	2.1	2.1	2.2	1.8	2.3	2.0
	45-64	14.4	14.9	15.2	16.0	14.9	16.8	16.2
	65-69	31.9	35.2	32.6	35.8	31.6	34.2	34.5
	70-74	44.7	41.5	44.6	47.6	42.0	43.0	39.5
	75歳以上	44.4	42.0	44.7	47.6	42.2	47.7	42.1
③ 医療費総額 =①×② (億円)	総数	15,236	15,635	16,310	17,688	15,988	18,262	17,306
	0-14	175	165	177	205	114	194	202
	15-44	981	1,041	1,063	1,109	894	1,129	975
	45-64	5,166	5,345	5,404	5,678	5,277	5,970	5,693
	65-69	2,268	2,560	2,405	2,653	2,322	2,551	2,627
	70-74	2,642	2,517	2,771	3,025	2,714	2,862	2,689
	75歳以上	4,004	4,007	4,490	5,018	4,667	5,556	5,120
④ 1人当たり医療費 が変化しない 場合の医療費 (億円) =2000年度の1人 当たり医療費×当年 度の人口	総数	15,236	15,564	15,847	16,126	16,380	16,746	17,039
	0-14	175	173	171	169	168	166	165
	15-44	981	978	975	971	964	951	945
	45-64	5,166	5,151	5,112	5,097	5,102	5,103	5,049
	65-69	2,268	2,319	2,350	2,359	2,340	2,377	2,429
	70-74	2,642	2,709	2,777	2,843	2,890	2,978	3,046
	75歳以上	4,004	4,234	4,462	4,686	4,916	5,171	5,405

2000年度を100としたとき

人口増減と高齢化によって 伸びるべき医療費(④の総数)	100.0	102.2	104.0	105.8	107.5	109.9	111.8
実際の医療費(③の総数)	100.0	102.6	107.0	116.1	104.9	119.9	113.6

\*厚生労働省「国民医療費」から計算。四捨五入差があるため、内訳と合計が一致しない箇所がある。

③医療費総額は、「人口×1人当たり医療費」で計算しているが、人口、1人当たり医療費に四捨五入差があるため、「国民医療費」に掲載されている金額とは一致しない箇所がある。

6. 脳血管疾患(入院)－2000年度を100とする－

	年齢階級	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
① 人口 (千人)	総数	126,926	127,291	127,435	127,619	127,687	127,768	127,770
	0-14	18,506	18,283	18,102	17,905	17,734	17,585	17,434
	15-44	50,487	50,349	50,188	49,990	49,630	48,968	48,649
	45-64	35,893	35,790	35,518	35,416	35,446	35,454	35,081
	65-69	7,118	7,277	7,374	7,405	7,344	7,460	7,624
	70-74	5,910	6,059	6,211	6,359	6,465	6,661	6,814
	75歳以上	9,013	9,531	10,044	10,548	11,067	11,639	12,166
② 1人当たり医療費 (実際の値) (千円)	総数	10.5	10.7	10.8	10.8	11.8	11.5	11.9
	0-14	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2
	15-44	0.5	0.6	0.7	0.5	0.6	0.5	0.5
	45-64	7.3	7.3	7.2	7.8	8.3	7.6	8.7
	65-69	20.1	20.6	19.5	19.3	21.0	17.1	21.5
	70-74	32.1	30.8	30.2	29.6	31.7	33.2	32.8
	75歳以上	78.4	76.7	74.4	70.9	73.7	70.6	66.1
③ 医療費総額 =①×② (億円)	総数	13,315	13,609	13,713	13,841	15,038	14,672	15,229
	0-14	38	48	30	36	22	19	38
	15-44	271	279	336	256	310	244	244
	45-64	2,612	2,610	2,562	2,765	2,958	2,705	3,039
	65-69	1,431	1,499	1,437	1,429	1,543	1,274	1,636
	70-74	1,900	1,866	1,873	1,880	2,050	2,213	2,233
	75歳以上	7,063	7,307	7,475	7,475	8,155	8,217	8,039
④ 1人当たり医療費 が変化しない 場合の医療費 (億円) =2000年度の1人 当たり医療費×当年 度の人口	総数	13,315	13,792	14,241	14,681	15,110	15,641	16,107
	0-14	38	38	37	37	36	36	36
	15-44	271	270	269	268	266	263	261
	45-64	2,612	2,605	2,585	2,577	2,579	2,580	2,553
	65-69	1,431	1,463	1,482	1,489	1,476	1,500	1,533
	70-74	1,900	1,948	1,997	2,044	2,078	2,141	2,191
	75歳以上	7,063	7,469	7,871	8,266	8,673	9,121	9,534

2000年度を100としたとき

人口増減と高齢化によって 伸びるべき医療費(④の総数)	100.0	103.6	107.0	110.3	113.5	117.5	121.0
実際の医療費(③の総数)	100.0	102.2	103.0	104.0	112.9	110.2	114.4

\*厚生労働省「国民医療費」から計算。四捨五入差があるため、内訳と合計が一致しない箇所がある。

③医療費総額は、「人口×1人当たり医療費」で計算しているが、人口、1人当たり医療費に四捨五入差があるため、「国民医療費」に掲載されている金額とは一致しない箇所がある。

7. 虚血性心疾患(入院)－2000年度を100とする－

	年齢階級	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
① 人口 (千人)	総数	126,926	127,291	127,435	127,619	127,687	127,768	127,770
	0-14	18,506	18,283	18,102	17,905	17,734	17,585	17,434
	15-44	50,487	50,349	50,188	49,990	49,630	48,968	48,649
	45-64	35,893	35,790	35,518	35,416	35,446	35,454	35,081
	65-69	7,118	7,277	7,374	7,405	7,344	7,460	7,624
	70-74	5,910	6,059	6,211	6,359	6,465	6,661	6,814
	75歳以上	9,013	9,531	10,044	10,548	11,067	11,639	12,166
② 1人当たり医療費 (実際の値) (千円)	総数	3.4	3.6	3.3	3.6	3.5	3.4	3.5
	0-14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
	15-44	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	45-64	3.3	3.0	3.0	3.4	3.3	3.2	3.5
	65-69	8.5	8.7	7.9	9.7	8.6	8.8	9.4
	70-74	12.8	13.3	9.3	13.8	13.4	13.3	9.9
	75歳以上	18.9	20.7	18.9	16.1	15.9	13.8	14.5
③ 医療費総額 =①×② (億円)	総数	4,370	4,599	4,204	4,578	4,514	4,370	4,522
	0-14	3	2	4	3	1	2	34
	15-44	134	98	89	85	88	95	120
	45-64	1,167	1,085	1,050	1,192	1,168	1,122	1,215
	65-69	605	634	586	721	632	656	714
	70-74	758	806	578	876	869	888	674
	75歳以上	1,703	1,974	1,897	1,701	1,756	1,607	1,765
④ 1人当たり医療費 が変化しない 場合の医療費 (億円) =2000年度の1人 当たり医療費×当年 度の人口	総数	4,370	4,497	4,612	4,725	4,832	4,973	5,093
	0-14	3	3	3	3	3	3	3
	15-44	134	134	133	133	132	130	129
	45-64	1,167	1,164	1,155	1,151	1,152	1,153	1,141
	65-69	605	619	627	629	624	634	648
	70-74	758	777	797	816	829	854	874
	75歳以上	1,703	1,801	1,898	1,993	2,091	2,199	2,299

2000年度を100としたとき

人口増減と高齢化によって 伸びるべき医療費(④の総数)	100.0	102.9	105.5	108.1	110.6	113.8	116.6
実際の医療費(③の総数)	100.0	105.2	96.2	104.8	103.3	100.0	103.5

\*厚生労働省「国民医療費」から計算。四捨五入差があるため、内訳と合計が一致しない箇所がある。

③医療費総額は、「人口×1人当たり医療費」で計算しているが、人口、1人当たり医療費に四捨五入差があるため、「国民医療費」に掲載されている金額とは一致しない箇所がある。

8. 精神及び行動の障害(入院)－2000年度を100とする－

	年齢階級	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
① 人口 (千人)	総数	126,926	127,291	127,435	127,619	127,687	127,768	127,770
	0-14	18,506	18,283	18,102	17,905	17,734	17,585	17,434
	15-44	50,487	50,349	50,188	49,990	49,630	48,968	48,649
	45-64	35,893	35,790	35,518	35,416	35,446	35,454	35,081
	65-69	7,118	7,277	7,374	7,405	7,344	7,460	7,624
	70-74	5,910	6,059	6,211	6,359	6,465	6,661	6,814
	75歳以上	9,013	9,531	10,044	10,548	11,067	11,639	12,166
② 1人当たり医療費 (実際の値) (千円)	総数	10.1	10.3	10.5	10.7	11.6	11.0	11.4
	0-14	0.2	0.2	0.3	0.3	0.6	0.3	0.3
	15-44	4.7	4.5	4.8	4.6	5.3	4.5	4.6
	45-64	16.6	16.5	16.5	16.2	16.5	15.6	16.0
	65-69	17.6	20.5	19.1	21.7	22.0	20.8	22.1
	70-74	17.0	17.5	18.6	19.1	23.6	20.8	23.6
	75歳以上	24.2	23.9	24.8	26.6	28.2	28.3	27.7
③ 医療費総額 =①×② (億円)	総数	12,818	13,061	13,404	13,698	14,858	14,040	14,535
	0-14	43	44	58	51	105	46	53
	15-44	2,384	2,281	2,427	2,284	2,632	2,226	2,216
	45-64	5,950	5,904	5,871	5,728	5,865	5,538	5,609
	65-69	1,254	1,490	1,405	1,610	1,613	1,551	1,684
	70-74	1,005	1,061	1,155	1,215	1,523	1,383	1,605
	75歳以上	2,182	2,281	2,488	2,810	3,120	3,296	3,368
④ 1人当たり医療費 が変化しない 場合の医療費 (億円) =2000年度の1人 当たり医療費×当年 度の人口	総数	12,818	12,973	13,087	13,213	13,333	13,495	13,600
	0-14	43	42	42	42	41	41	41
	15-44	2,384	2,377	2,370	2,361	2,344	2,312	2,297
	45-64	5,950	5,933	5,888	5,871	5,876	5,877	5,815
	65-69	1,254	1,282	1,299	1,305	1,294	1,314	1,343
	70-74	1,005	1,030	1,056	1,081	1,099	1,133	1,159
	75歳以上	2,182	2,307	2,432	2,554	2,679	2,818	2,945

2000年度を100としたとき

人口増減と高齢化によって 伸びるべき医療費(④の総数)	100.0	101.2	102.1	103.1	104.0	105.3	106.1
実際の医療費(③の総数)	100.0	101.9	104.6	106.9	115.9	109.5	113.4

\*厚生労働省「国民医療費」から計算。四捨五入差があるため、内訳と合計が一致しない箇所がある。

③医療費総額は、「人口×1人当たり医療費」で計算しているが、人口、1人当たり医療費に四捨五入差があるため、「国民医療費」に掲載されている金額とは一致しない箇所がある。

9. 高血圧性疾患(入院外)－2000年度を100とする－

	年齢階級	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
① 人口 (千人)	総数	126,926	127,291	127,435	127,619	127,687	127,768	127,770
	0-14	18,506	18,283	18,102	17,905	17,734	17,585	17,434
	15-44	50,487	50,349	50,188	49,990	49,630	48,968	48,649
	45-64	35,893	35,790	35,518	35,416	35,446	35,454	35,081
	65-69	7,118	7,277	7,374	7,405	7,344	7,460	7,624
	70-74	5,910	6,059	6,211	6,359	6,465	6,661	6,814
	75歳以上	9,013	9,531	10,044	10,548	11,067	11,639	12,166
② 1人当たり医療費 (実際の値) (千円)	総数	12.3	12.5	13.2	13.2	12.9	12.9	15.4
	0-14	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	15-44	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.8	1.3
	45-64	12.8	13.2	13.8	14.0	13.6	13.1	17.6
	65-69	32.9	30.6	33.0	32.7	28.3	29.4	34.0
	70-74	48.5	44.3	45.5	47.6	45.6	44.6	47.0
	75歳以上	59.6	61.0	62.5	58.5	57.2	54.0	58.4
③ 医療費総額 =①×② (億円)	総数	15,601	15,854	16,810	16,900	16,527	16,492	19,712
	0-14	3	2	15	1	0	4	3
	15-44	420	409	351	336	341	395	636
	45-64	4,599	4,710	4,900	4,946	4,831	4,641	6,165
	65-69	2,340	2,230	2,436	2,419	2,079	2,191	2,595
	70-74	2,864	2,687	2,829	3,024	2,945	2,972	3,203
	75歳以上	5,375	5,816	6,279	6,174	6,331	6,289	7,110
④ 1人当たり医療費 が変化しない 場合の医療費 (億円) =2000年度の1人 当たり医療費×当年 度の人口	総数	15,601	16,020	16,395	16,763	17,105	17,574	17,966
	0-14	3	3	3	3	3	3	3
	15-44	420	419	418	416	413	407	405
	45-64	4,599	4,586	4,551	4,538	4,542	4,543	4,495
	65-69	2,340	2,392	2,424	2,434	2,414	2,452	2,506
	70-74	2,864	2,936	3,010	3,082	3,133	3,228	3,302
	75歳以上	5,375	5,684	5,990	6,290	6,600	6,941	7,255

2000年度を100としたとき

人口増減と高齢化によって 伸びるべき医療費(④の総数)	100.0	102.7	105.1	107.4	109.6	112.6	115.2
実際の医療費(③の総数)	100.0	101.6	107.7	108.3	105.9	105.7	126.4

\*厚生労働省「国民医療費」から計算。四捨五入差があるため、内訳と合計が一致しない箇所がある。

③医療費総額は、「人口×1人当たり医療費」で計算しているが、人口、1人当たり医療費に四捨五入差があるため、「国民医療費」に掲載されている金額とは一致しない箇所がある。

10. 糖尿病(入院外)－2000年度を100とする－

	年齢階級	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
① 人口 (千人)	総数	126,926	127,291	127,435	127,619	127,687	127,768	127,770
	0-14	18,506	18,283	18,102	17,905	17,734	17,585	17,434
	15-44	50,487	50,349	50,188	49,990	49,630	48,968	48,649
	45-64	35,893	35,790	35,518	35,416	35,446	35,454	35,081
	65-69	7,118	7,277	7,374	7,405	7,344	7,460	7,624
	70-74	5,910	6,059	6,211	6,359	6,465	6,661	6,814
	75歳以上	9,013	9,531	10,044	10,548	11,067	11,639	12,166
② 1人当たり医療費 (実際の値) (千円)	総数	5.6	5.9	5.7	5.7	5.7	5.7	5.9
	0-14	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1
	15-44	0.8	0.8	0.9	0.8	0.9	0.9	0.8
	45-64	8.0	8.4	7.9	7.7	7.6	7.5	8.1
	65-69	16.9	17.1	16.3	17.0	15.7	14.3	15.8
	70-74	18.8	19.6	18.9	19.1	19.5	19.7	18.7
	75歳以上	16.3	18.1	16.6	15.8	15.3	15.1	15.0
③ 医療費総額 =①×② (億円)	総数	7,057	7,570	7,324	7,282	7,237	7,252	7,576
	0-14	15	17	11	8	11	17	14
	15-44	389	402	460	398	427	426	413
	45-64	2,868	2,999	2,814	2,743	2,690	2,671	2,844
	65-69	1,203	1,243	1,200	1,259	1,153	1,068	1,208
	70-74	1,110	1,186	1,174	1,212	1,263	1,313	1,273
	75歳以上	1,472	1,723	1,665	1,662	1,693	1,757	1,824
④ 1人当たり医療費 が変化しない 場合の医療費 (億円) =2000年度の1人 当たり医療費×当年 度の人口	総数	7,057	7,187	7,293	7,398	7,492	7,637	7,747
	0-14	15	15	15	15	14	14	14
	15-44	389	388	387	385	382	377	375
	45-64	2,868	2,860	2,838	2,830	2,832	2,833	2,803
	65-69	1,203	1,230	1,246	1,252	1,241	1,261	1,289
	70-74	1,110	1,138	1,167	1,194	1,214	1,251	1,280
	75歳以上	1,472	1,557	1,640	1,723	1,807	1,901	1,987

2000年度を100としたとき

人口増減と高齢化によって 伸びるべき医療費(④の総数)	100.0	101.8	103.3	104.8	106.2	108.2	109.8
実際の医療費(③の総数)	100.0	107.3	103.8	103.2	102.6	102.8	107.4

\*厚生労働省「国民医療費」から計算。四捨五入差があるため、内訳と合計が一致しない箇所がある。

③医療費総額は、「人口×1人当たり医療費」で計算しているが、人口、1人当たり医療費に四捨五入差があるため、「国民医療費」に掲載されている金額とは一致しない箇所がある。

11. 悪性新生物(入院外)－2000年度を100とする－

	年齢階級	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
① 人口 (千人)	総数	126,926	127,291	127,435	127,619	127,687	127,768	127,770
	0-14	18,506	18,283	18,102	17,905	17,734	17,585	17,434
	15-44	50,487	50,349	50,188	49,990	49,630	48,968	48,649
	45-64	35,893	35,790	35,518	35,416	35,446	35,454	35,081
	65-69	7,118	7,277	7,374	7,405	7,344	7,460	7,624
	70-74	5,910	6,059	6,211	6,359	6,465	6,661	6,814
	75歳以上	9,013	9,531	10,044	10,548	11,067	11,639	12,166
② 1人当たり医療費 (実際の値) (千円)	総数	4.4	5.0	4.6	5.6	5.7	5.9	5.9
	0-14	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	15-44	0.9	1.1	0.9	1.3	1.1	1.2	1.0
	45-64	5.5	6.2	5.5	7.3	7.5	7.0	7.0
	65-69	11.0	12.8	12.4	12.9	13.4	13.3	14.4
	70-74	16.3	17.1	14.8	18.4	19.2	18.1	18.2
	75歳以上	15.2	16.4	15.9	16.7	16.9	18.9	18.2
③ 医療費総額 =①×② (億円)	総数	5,573	6,313	5,846	7,125	7,318	7,487	7,530
	0-14	17	11	24	25	15	15	20
	15-44	465	553	431	646	559	579	506
	45-64	1,974	2,216	1,965	2,568	2,652	2,494	2,457
	65-69	783	931	912	952	984	991	1,100
	70-74	965	1,035	917	1,170	1,239	1,206	1,238
	75歳以上	1,369	1,567	1,597	1,764	1,869	2,202	2,209
④ 1人当たり医療費 が変化しない 場合の医療費 (億円) =2000年度の1人 当たり医療費×当年 度の人口	総数	5,573	5,686	5,783	5,880	5,967	6,093	6,193
	0-14	17	17	17	16	16	16	16
	15-44	465	464	462	460	457	451	448
	45-64	1,974	1,968	1,953	1,948	1,949	1,950	1,929
	65-69	783	800	811	815	808	821	839
	70-74	965	989	1,014	1,038	1,056	1,088	1,113
	75歳以上	1,369	1,448	1,526	1,602	1,681	1,768	1,848

2000年度を100としたとき

人口増減と高齢化によって 伸びるべき医療費(④の総数)	100.0	102.0	103.8	105.5	107.1	109.3	111.1
実際の医療費(③の総数)	100.0	113.3	104.9	127.8	131.3	134.3	135.1

\*厚生労働省「国民医療費」から計算。四捨五入差があるため、内訳と合計が一致しない箇所がある。

③医療費総額は、「人口×1人当たり医療費」で計算しているが、人口、1人当たり医療費に四捨五入差があるため、「国民医療費」に掲載されている金額とは一致しない箇所がある。

12. 精神及び行動の障害(入院外)－2000年度を100とする－

	年齢階級	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
① 人口 (千人)	総数	126,926	127,291	127,435	127,619	127,687	127,768	127,770
	0-14	18,506	18,283	18,102	17,905	17,734	17,585	17,434
	15-44	50,487	50,349	50,188	49,990	49,630	48,968	48,649
	45-64	35,893	35,790	35,518	35,416	35,446	35,454	35,081
	65-69	7,118	7,277	7,374	7,405	7,344	7,460	7,624
	70-74	5,910	6,059	6,211	6,359	6,465	6,661	6,814
	75歳以上	9,013	9,531	10,044	10,548	11,067	11,639	12,166
② 1人当たり医療費 (実際の値) (千円)	総数	3.0	3.2	3.4	3.6	3.6	3.8	3.8
	0-14	0.5	0.5	0.4	0.5	0.7	0.6	0.8
	15-44	2.9	3.1	3.2	3.3	3.8	3.9	4.2
	45-64	3.3	3.5	3.6	4.0	3.8	3.8	3.9
	65-69	4.1	3.8	4.0	4.3	3.8	4.0	4.2
	70-74	4.6	4.7	4.7	5.0	4.7	5.7	4.7
	75歳以上	5.4	6.6	7.4	7.5	6.5	6.6	5.5
③ 医療費総額 =①×② (億円)	総数	3,755	4,089	4,271	4,583	4,647	4,823	4,834
	0-14	85	87	77	96	126	103	132
	15-44	1,444	1,555	1,586	1,658	1,874	1,911	2,021
	45-64	1,171	1,263	1,278	1,402	1,346	1,364	1,368
	65-69	295	275	292	318	280	295	323
	70-74	269	282	292	320	305	383	320
	75歳以上	491	627	746	789	716	767	670
④ 1人当たり医療費 が変化しない 場合の医療費 (億円) =2000年度の1人 当たり医療費×当年 度の人口	総数	3,755	3,788	3,813	3,838	3,859	3,884	3,905
	0-14	85	84	83	82	81	81	80
	15-44	1,444	1,440	1,435	1,430	1,419	1,401	1,391
	45-64	1,171	1,168	1,159	1,155	1,156	1,157	1,145
	65-69	295	302	306	307	304	309	316
	70-74	269	276	283	289	294	303	310
	75歳以上	491	519	547	575	603	634	663

2000年度を100としたとき

人口増減と高齢化によって 伸びるべき医療費(④の総数)	100.0	100.9	101.5	102.2	102.8	103.4	104.0
実際の医療費(③の総数)	100.0	108.9	113.7	122.1	123.8	128.4	128.7

\*厚生労働省「国民医療費」から計算。四捨五入差があるため、内訳と合計が一致しない箇所がある。

③医療費総額は、「人口×1人当たり医療費」で計算しているが、人口、1人当たり医療費に四捨五入差があるため、「国民医療費」に掲載されている金額とは一致しない箇所がある。

## 参考文献

\*発行年を掲げていない資料は、過去数年にわたって参考としたもの。

メディアファクス, 2008年8月29日

厚生労働省保険局「医療保険制度改革について」(第48回市町村セミナー資料)

2005年7月11日

「社会保障国民会議における検討に資するために行う医療・介護費用のシミュレーションの前提について」(社会保障国民会議サービス保障(医療・介護・福祉)分科会資料), 2008年9月9日

厚生労働省「国民医療費」

厚生労働省「平成18年度国民医療費の概況」2008年8月28日

厚生労働省「社会医療診療行為別調査」

厚生労働省「社会医療診療行為別調査結果の概況」

厚生労働省「患者調査」